



2025年3月期 決算説明資料

2025年5月

株式会社NexTone

東証グロース コード：7094



目次

①	エグゼクティブサマリー	3
②	2025年3月期 決算概要	4
③	トピックス（2026年3月期 配当予想・「BLONIA」）	21
④	2026年3月期・中期業績計画（2026/3期～2028/3期）	25
⑤	APPENDIX 会社概要	33
⑥	APPENDIX 関連市場データ	56

エグゼクティブサマリー

2025年3月期 業績ハイライト

決算概要 P.4へ

- ✓ レコチョクグループにおける先行投資を当社既存事業が拡大して吸収し、売上高・営業利益は**過去最高**を更新。
- ✓ 事業基盤となる管理楽曲数・取扱原盤数はともに着実に増加し、**基幹事業は2桁成長**。

取扱高 (※1)

364.8

(億円)

前期比 **+39.4%**

売上高 (※1)

194.1

(億円)

前期比 **+44.5%**

営業利益 (※1)

10.0

(億円)

前期比 **+54.9%**

管理楽曲数

69.1

(万曲)

前期比 **+16.5** (万曲)

取扱原盤数 (※2)

147.0

(万原盤)

前期比 **+20.7** (万原盤)

(※1) 2023年9月29日にレコチョクの株式を取得し同社子会社のエッグスとともに連結の範囲に含め、2024年3月期第3四半期連結会計期間よりPLを連結しております。

(※2) 2024年3月期第3四半期よりレコチョク及びエッグスの取扱原盤数を合算しております。

2025年3月期 決算概要

2025年3月期 決算概要

✓ 前期はレコチョクグループの事業を下半期のみ連結したのに対し、今期は通期で連結しているため **大幅に増収増益**。

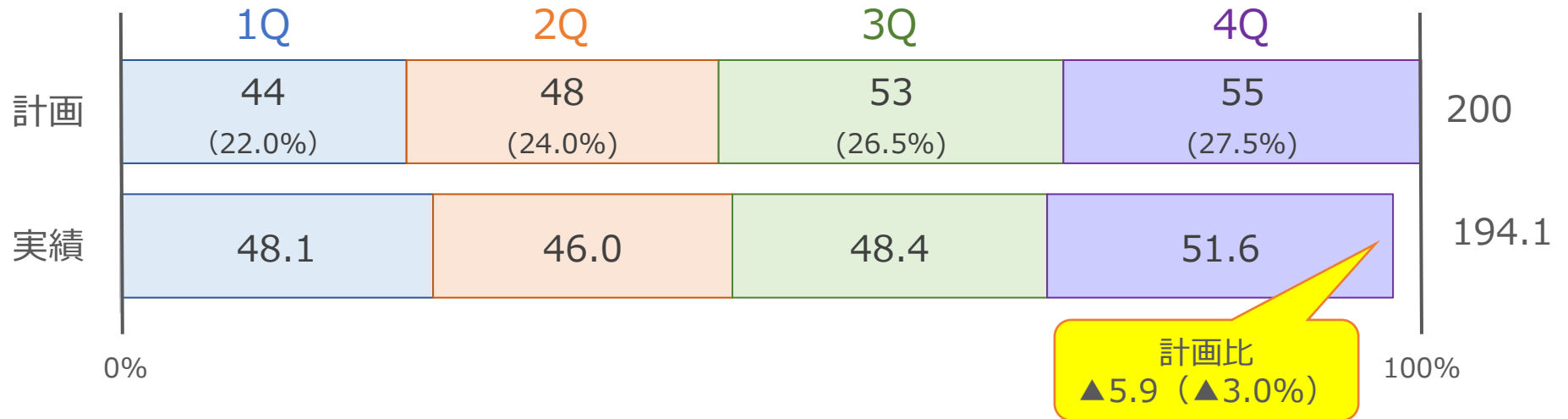
(億円)	2024/3期	2025/3期		前期比	
	通期	計画	実績	増減	増減率
売上高	134.3	200	194.1	+ 59.8	+ 44.5%
販管費	28.5	55	38.2	+ 9.7	+ 34.0%
営業利益 (※)	6.4	10	10.0	+ 3.6	+ 54.9%
経常利益 (※)	6.5	10	10.2	+ 3.7	+ 57.4%
親会社株主帰属 当期純利益	5.3	6.0	6.9	+ 1.6	+ 30.3%
営業利益率	4.9%	5.0%	5.2%	+ 0.3pt	—
管理楽曲数 (万曲)	52.6	63	69.1	+ 16.5	+ 31.4%
取扱原盤数 (万原盤)	126.3	154	147.0	+ 20.7	+ 16.4%

(※) 当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。それに伴い前連結会計年度の経営成績を、営業利益6.4億円、経常利益6.5億円に修正しております。

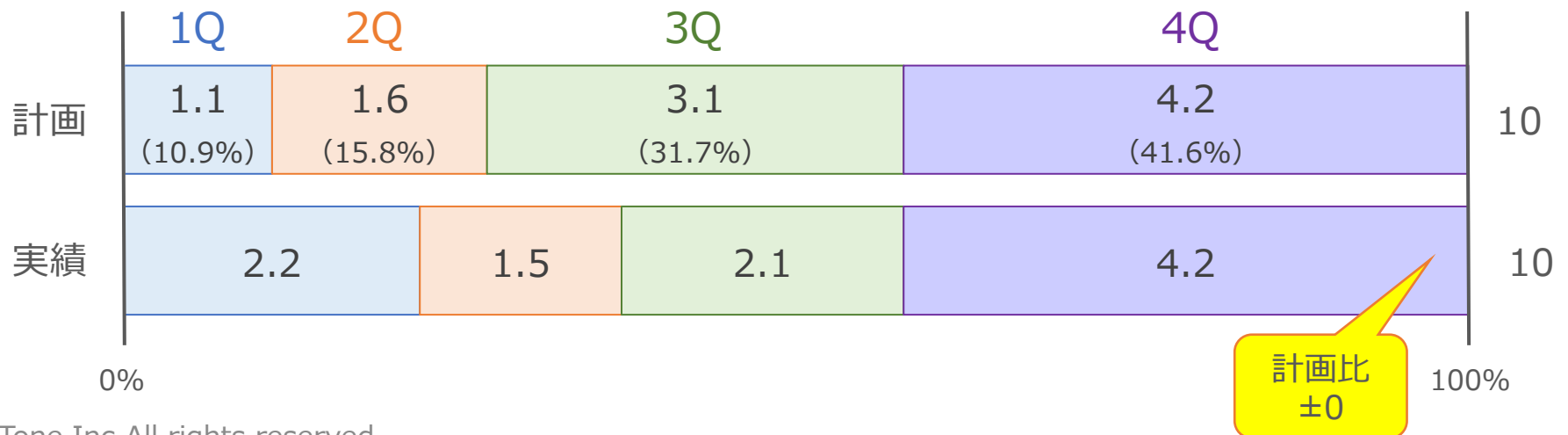
四半期毎業績推移①

✓ 売上高は若干計画未達となるも、営業利益は計画達成。

売上高 (億円)

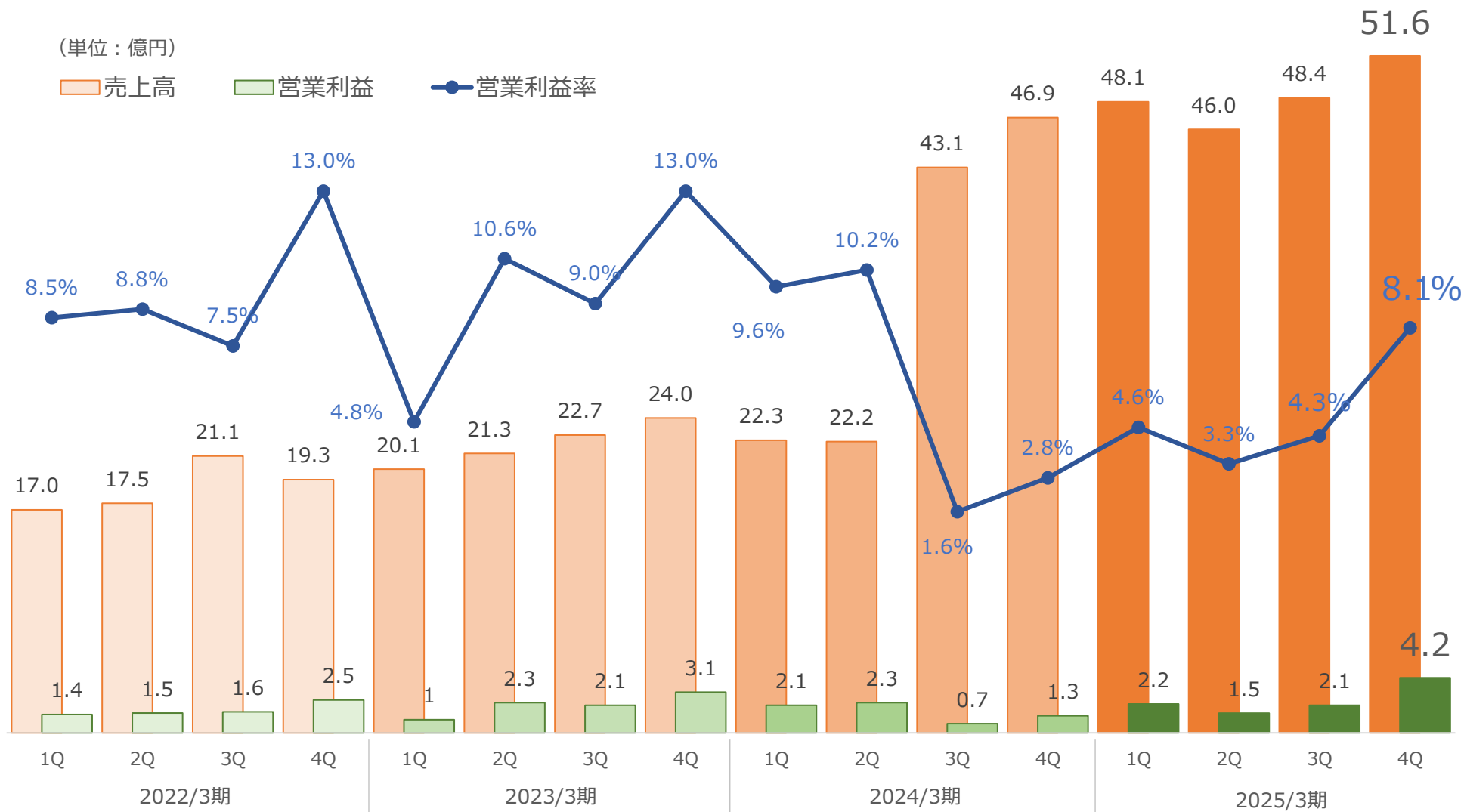


営業利益 (億円)



四半期毎業績推移②

✓ レコチョクグループを子会社化した前期3Q以来、売上高・営業利益は順調に拡大して今期4Qは過去最高を更新。



セグメント別業績 (1/4) ■ 著作権管理事業

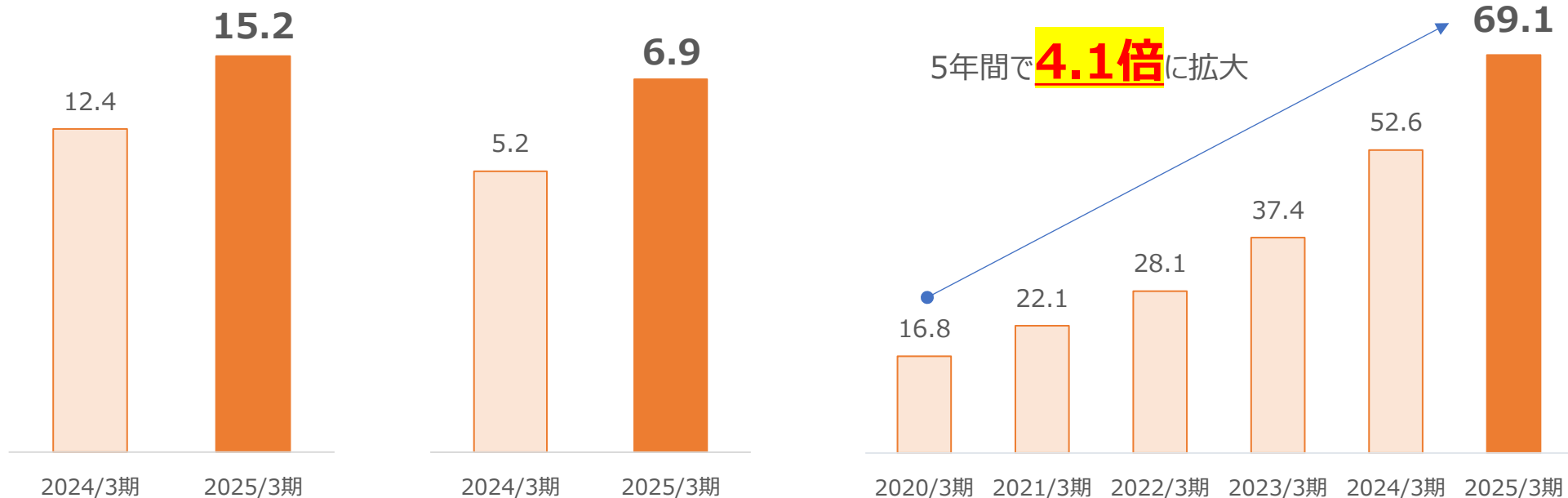
- ✓ インタラクティブ配信にかかるストリーミング音楽配信市場と動画配信サービス市場の引き続きの拡大、アイドル楽曲の音楽ソフト等にかかる録音権の徴収実績の増加等により前期比で増収増益。

(億円)	2024/3期	2025/3期		前期比	
	通期	計画	実績	増減	増減率
売上高	12.4	15.9	15.2	+ 2.8	+23.3%
営業利益	5.2	7.4	6.9	+ 1.7	+ 32.2%

売上高 (億円)

営業利益 (億円)

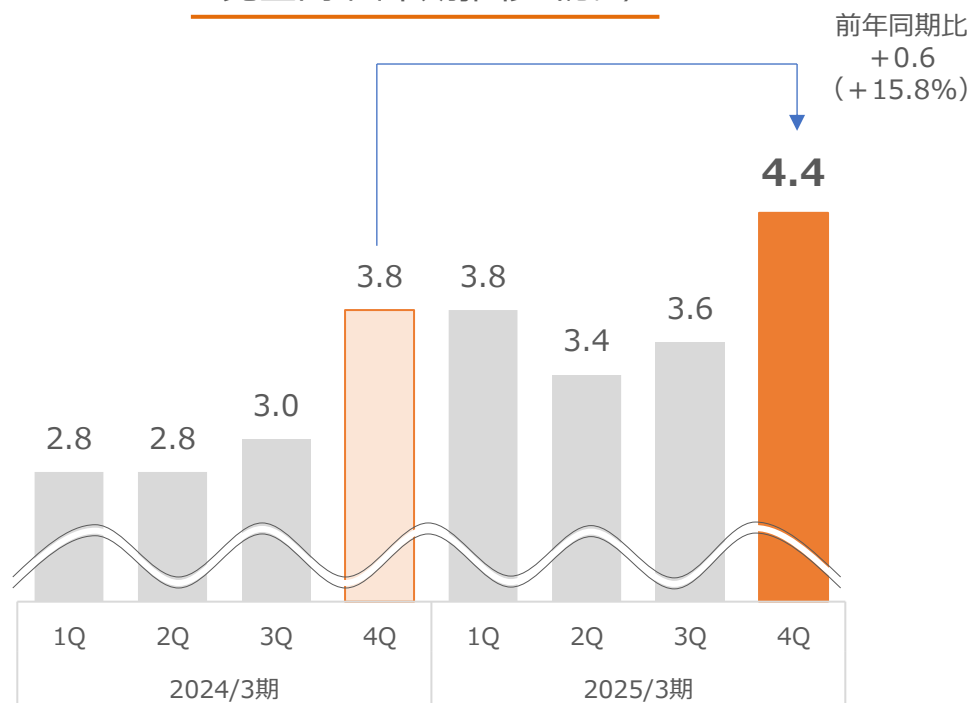
著作権管理楽曲数 (万曲)



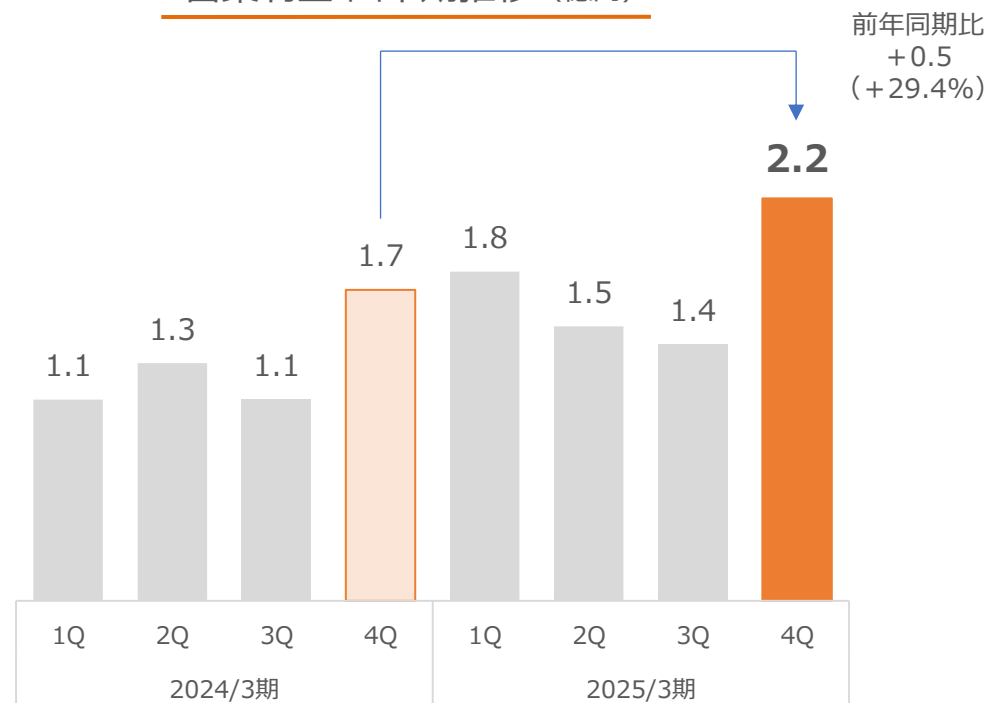
四半期業績推移 ■ 著作権管理事業

(億円)	2024/3期				2025/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	2.8	2.8	3.0	3.8	3.8	3.4	3.6	4.4
営業利益	1.1	1.3	1.1	1.7	1.8	1.5	1.4	2.2

売上高 四半期推移 (億円)



営業利益 四半期推移 (億円)



NexTone Award 2025 受賞作品 ■ 著作権管理事業

選出対象期間：2024年1月～12月

NexTone管理作品のうち著作権使用料分配額上位3作品

Gold Medal

＜作品名＞
怪獣の花唄
＜著作者＞
作詞・作曲:Vaundy
＜音楽出版社＞
株式会社SDR
＜アーティスト＞
Vaundy



Silver Medal

＜作品名＞
独りんぼエンヴィー
＜著作者＞
作詞・作曲:koyori
＜音楽出版社＞
株式会社ドワンゴ
＜アーティスト＞
koyori (電ポルP)



Bronze Medal

＜作品名＞
ケセラセラ
＜著作者＞
作詞・作曲:大森元貴
＜音楽出版社＞
株式会社ABCフロンティア
＜アーティスト＞
Mrs. GREEN APPLE



特別賞

当事業において大きな実績・話題
を創出したプロジェクトやアーティスト

BMSG



国際賞

当事業において海外で最も実績・
話題を創出した作品やアーティスト

「すずめの戸締まり」プロジェクト



YouTube賞

当事業に関わる作品のうちYouTubeでの
再生実績が最も高い作品やアーティスト

作品名：はいよこんで
著作者：作詞:こっちのけんと
作曲:こっちのけんと、GRP
音楽出版社：株式会社blowout
アーティスト：こっちのけんと



「NexTone Award 2025」公式サイト
<https://www.nex-tone.co.jp/award2025/>

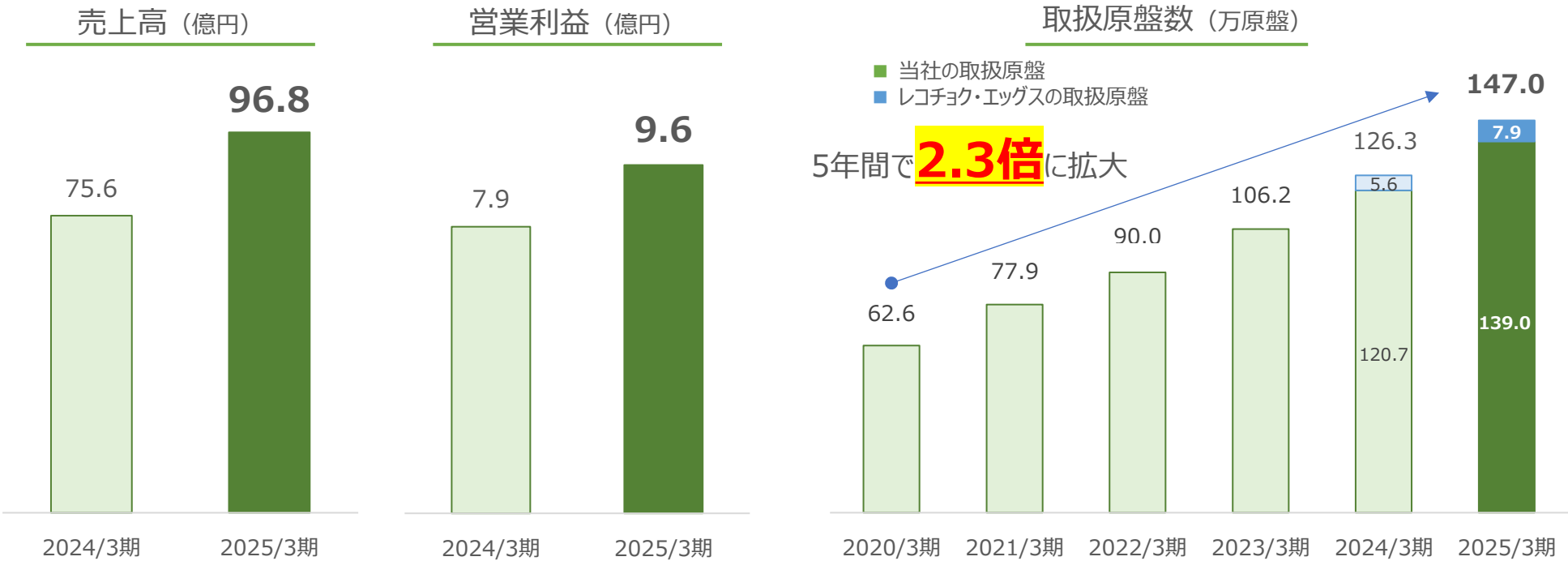
協賛



セグメント別業績 (2/4) ■ DD (デジタルディストリビューション) 事業

✓ ストリーミング音楽配信市場と動画配信サービス市場の伸長、取扱原盤の着実な増加等により前期比で増収増益。VTuber等のネットクリエイター関連の原盤が日本および海外で多く使用され好実績。

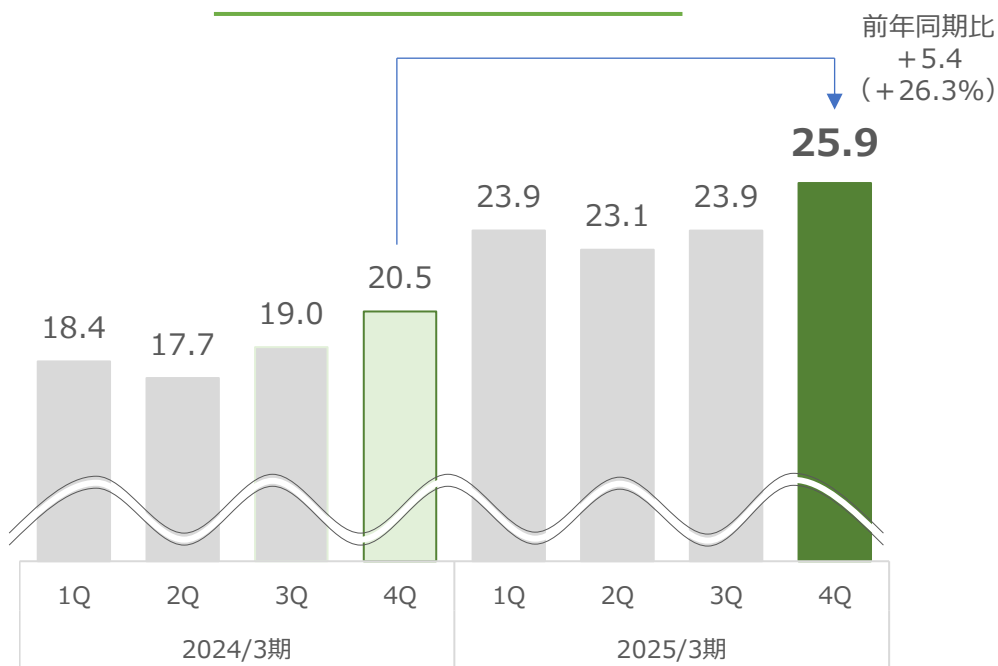
(億円)	2024/3期	2025/3期		前期比	
	通期	計画	実績	増減	増減率
売上高	75.6	102.0	96.8	+21.2	+28.1%
営業利益	7.9	10.6	9.6	+1.7	+22.5%



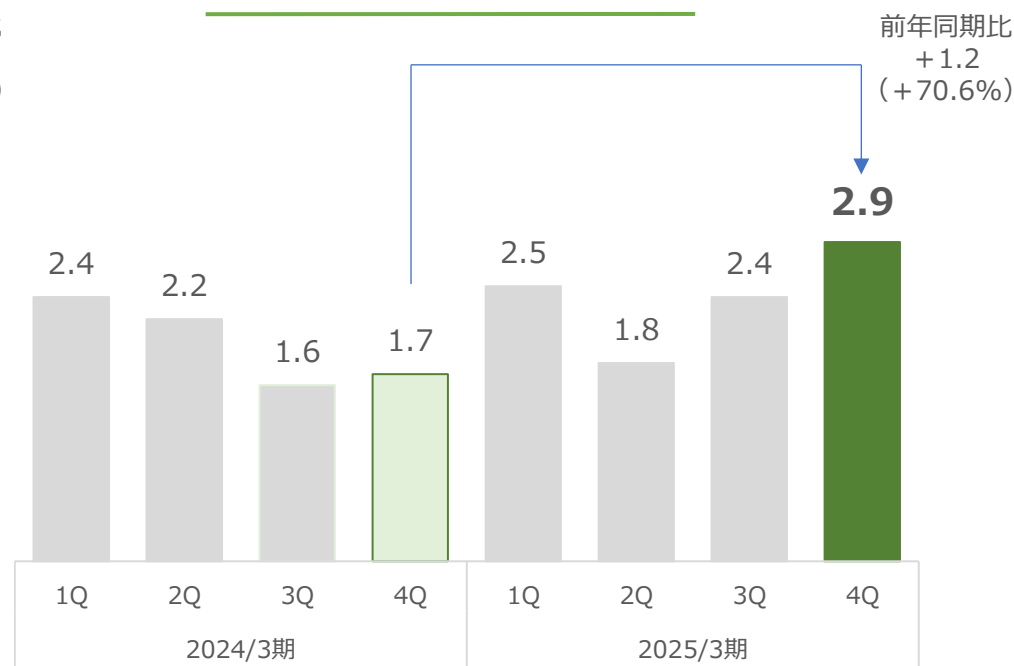
四半期業績推移 ■ DD (デジタルディストリビューション) 事業

(億円)	2024/3期				2025/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	18.4	17.7	19.0	20.5	23.9	23.1	23.9	25.9
営業利益	2.4	2.2	1.6	1.7	2.5	1.8	2.4	2.9

売上高 四半期推移 (億円)



営業利益 四半期推移 (億円)

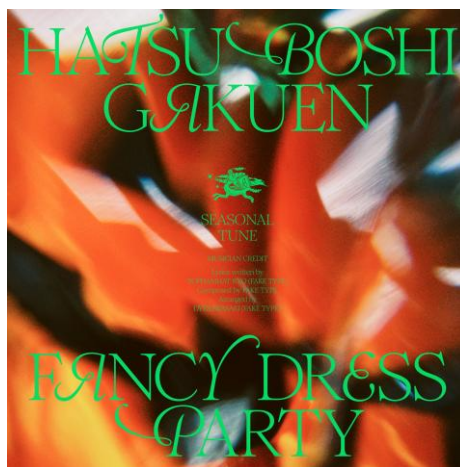


2025/3期の主な徴収額上位原盤 (五十音順) ■ DD事業



「Action!!!!!!!!!!!!!!」
VOLTACTION

©ANYCOLOR, Inc.



「仮装狂騒曲」
初星学園

©Bandai Namco Entertainment Inc.



「テトリス / 重音テトSV」

©2024 柊マグネタイト



「Perfect | Reflections - Sonic X Shadow
Generations Original Soundtrack」
SONIC THE HEDGEHOG

©SEGA



「ペルソナ3 リロード オリジナル・サウンドトラック」
ATLUS GAME MUSIC

©ATLUS / SEGA All rights reserved.



「Wonder Wander World」
ChroNoiR

©ANYCOLOR, Inc.

セグメント別業績 (3/4)

■ 音楽配信事業

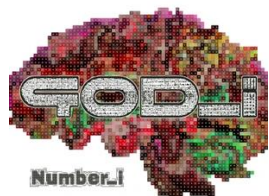
- ✓ レコチョクの音楽配信事業（個人向け、法人向け）を前期3Qから当セグメントに設定。
- ✓ 個人向け主力サービスである「dヒッツ」のサービス料金を2024年12月より改定したことが奏功。

(億円)	2024/3期	2025/3期		前期比	
	通期	計画	実績	増減	増減率
売上高	39.8	74.3	75.8	+ 36.0	+ 90.7%
営業利益	5.6	16.3	13.3	+ 7.7	+ 136.6%

「レコチョク」ランキング上位楽曲

1月

シングル



Number_i
/ GOD_I

TOBE MUSIC

アルバム



tuki. / 15

massenext Inc.

2月

シングル



BE:FIRST / Spacecraft

AVEX ENTERTAINMENT INC.

アルバム



BE:FIRST /
Spacecraft / Sailing

AVEX ENTERTAINMENT INC.

3月

シングル



JO1 /
BE CLASSIC

LAPONE ENTERTAINMENT

アルバム



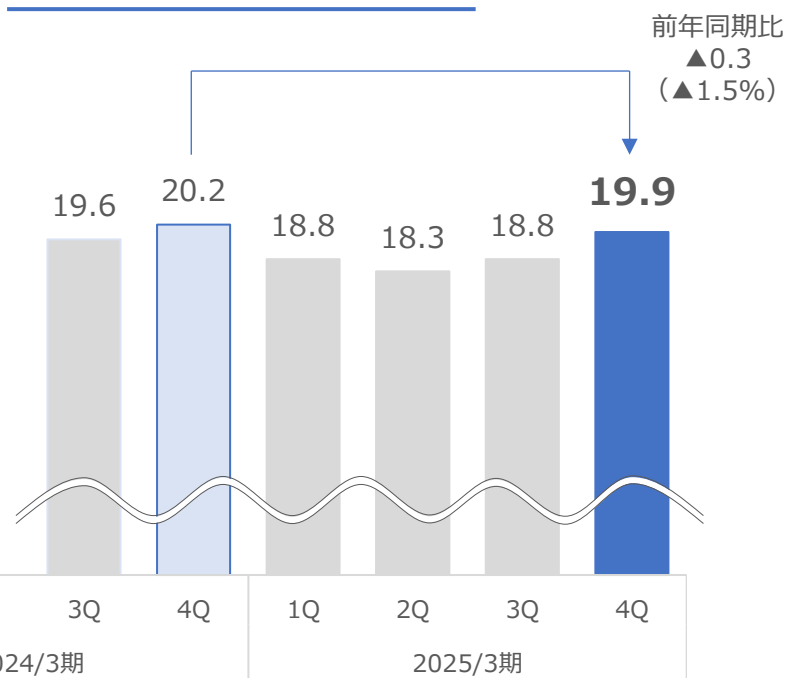
乃木坂46 /
ネーブルオレンジ (Special Edition)

Sony Music Entertainment

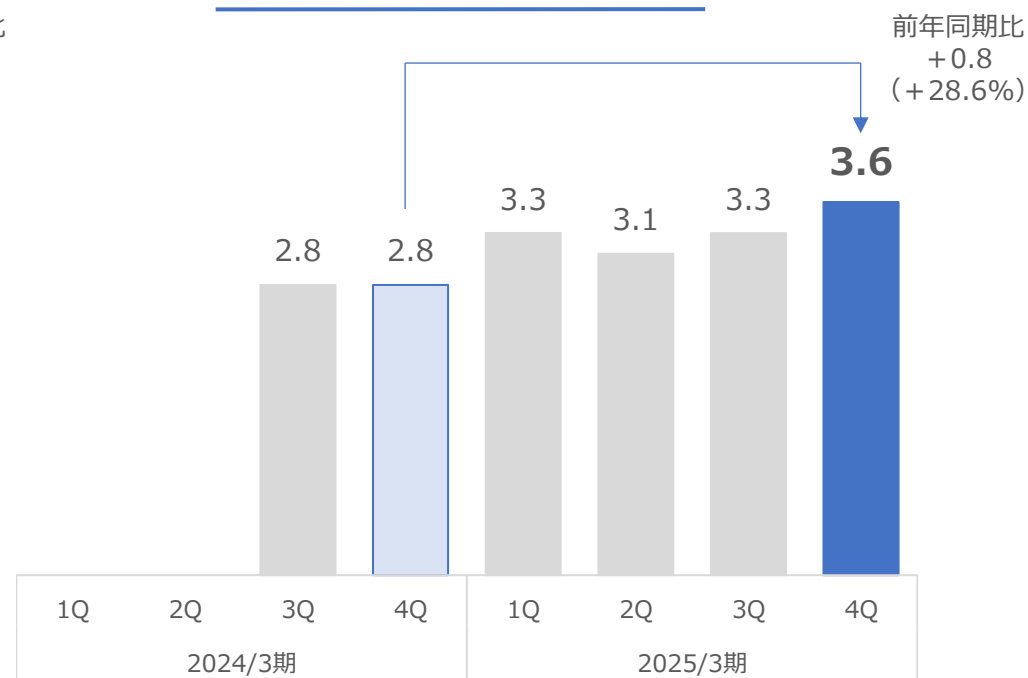
四半期業績推移 ■ 音楽配信事業

(億円)	2024/3期				2025/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	—	—	19.6	20.2	18.8	18.3	18.8	19.9
営業利益	—	—	2.8	2.8	3.3	3.1	3.3	3.6

売上高 四半期推移 (億円)



営業利益 四半期推移 (億円)



セグメント別業績 (4/4)

■ ビジネスサポート事業

- ✓ 当社キャスティング事業のライブビューイング等が順調に進展したことにより前期比で増収。
- ✓ レコチョクのソリューション事業やエッグスのシステム開発等の先行投資が継続発生した影響で前期比で減益。

(億円)	2024/3期	2025/3期		前期比	
	通期	計画	実績	増減	増減率
売上高	13.1	17.7	14.9	+ 1.8	+ 14.5%
営業利益	▲0.8	▲3.1	▲4.2	▲3.4	-

キャスティング事業 実績例

興行サポート

MONGOL800 × WANIMA 愛彌々 TOUR 2025



1月31日から3月30日まで開催された
MONGOL800 × WANIMA 愛彌々 TOUR 2025をサポート

配信ライブ

【天月-あまつき-】Winter Tour 2024-2025『ラスト・フレグランス』

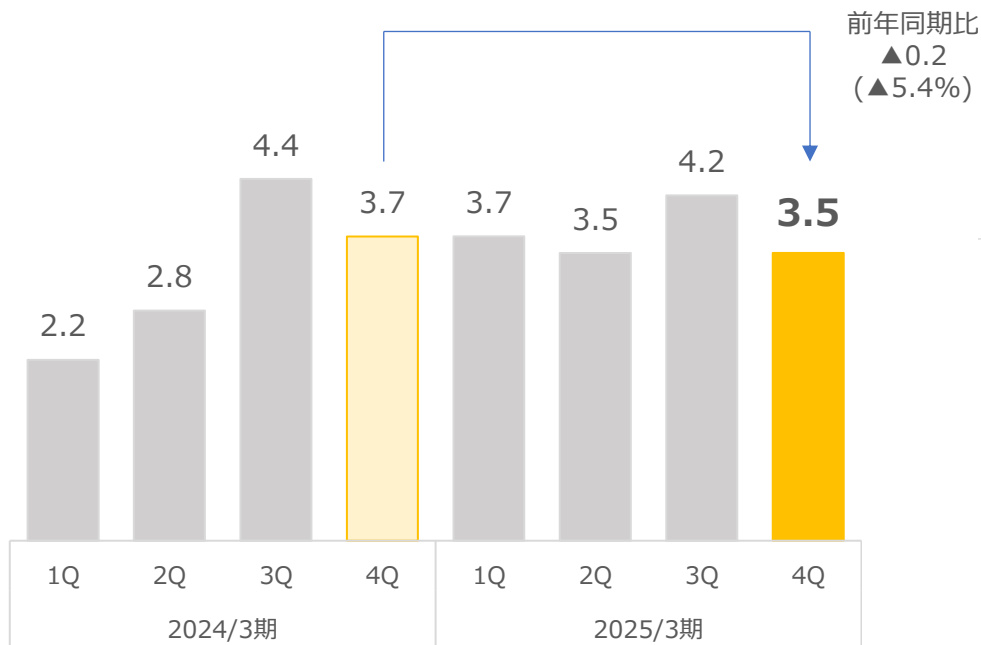


3月28日に開催された天月のWinter Tour 2024-2025
『ラスト・フレグランス』ニコニコ生放送での最速独占配信をサポート

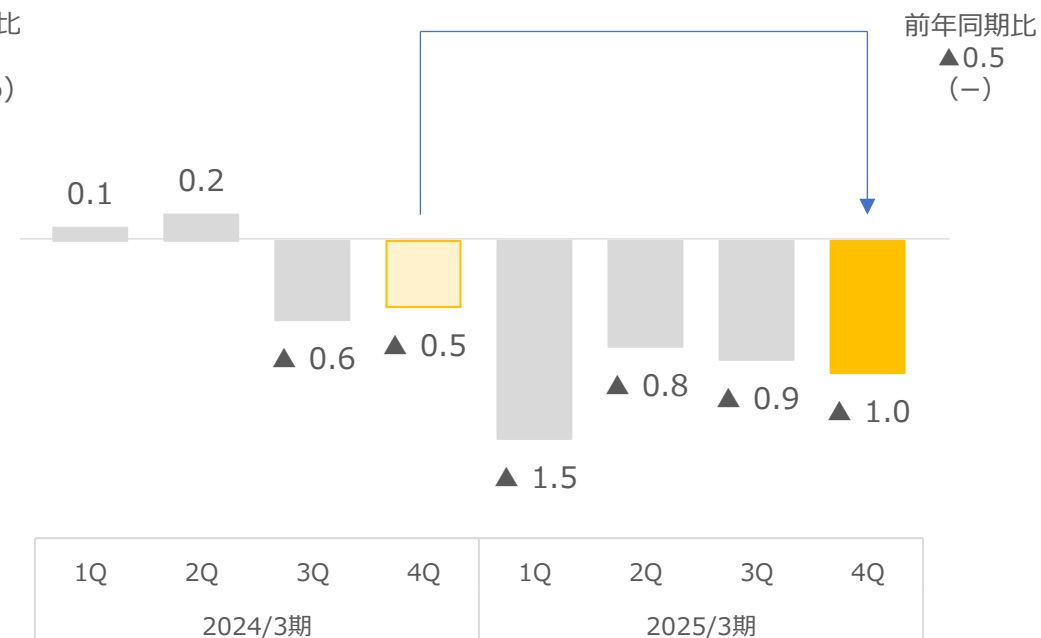
四半期業績推移 ■ ビジネスサポート事業

(億円)	2024/3期				2025/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	2.2	2.8	4.4	3.7	3.7	3.5	4.2	3.5
営業利益	0.1	0.2	▲0.6	▲0.5	▲1.5	▲0.8	▲0.9	▲1.0

売上高 四半期推移 (億円)



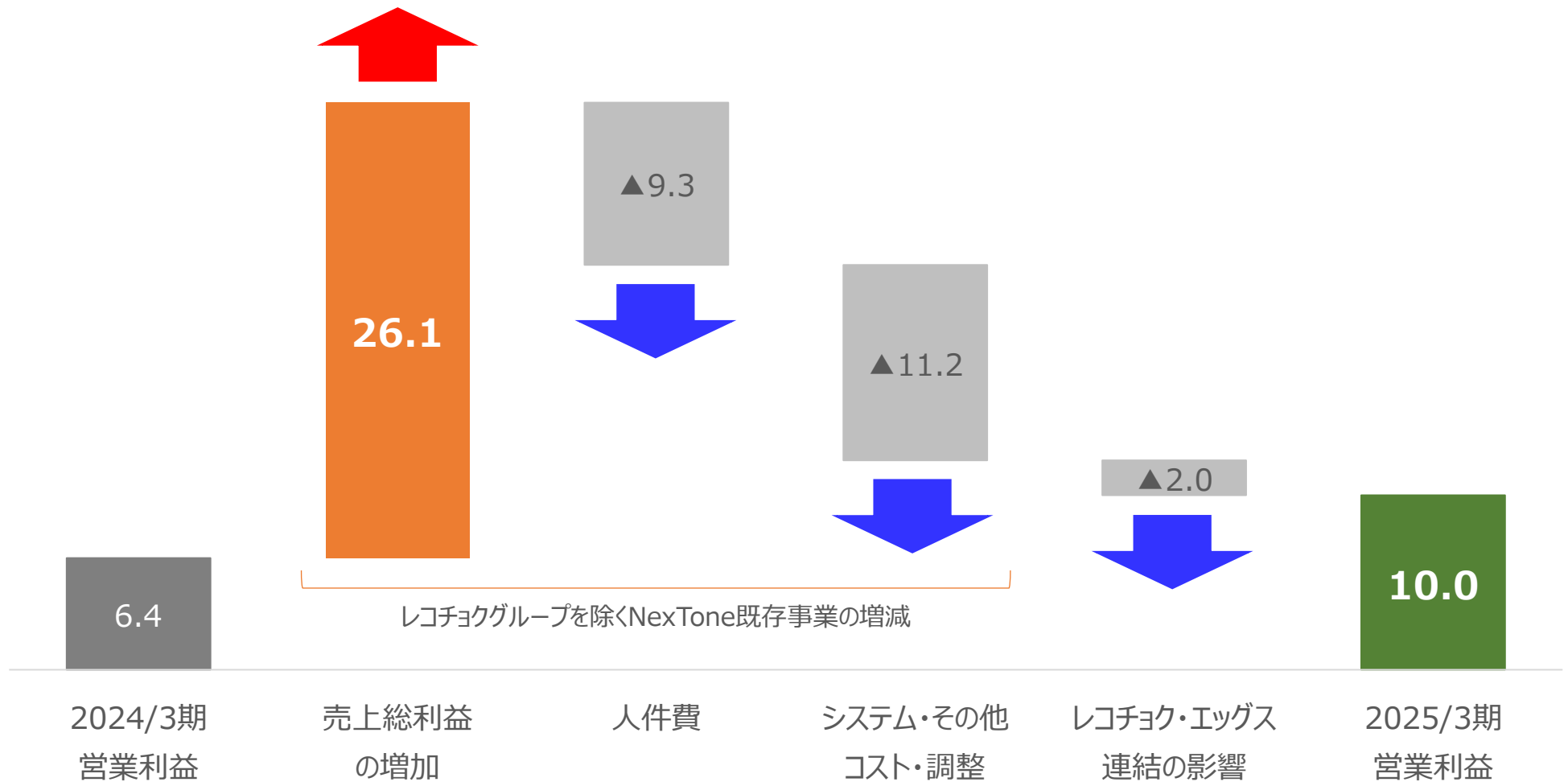
営業利益 四半期推移 (億円)



営業利益増減要因

- ✓ レコチョクグループを連結したことによるマイナス影響を、既存事業による増収効果が吸収して増益。

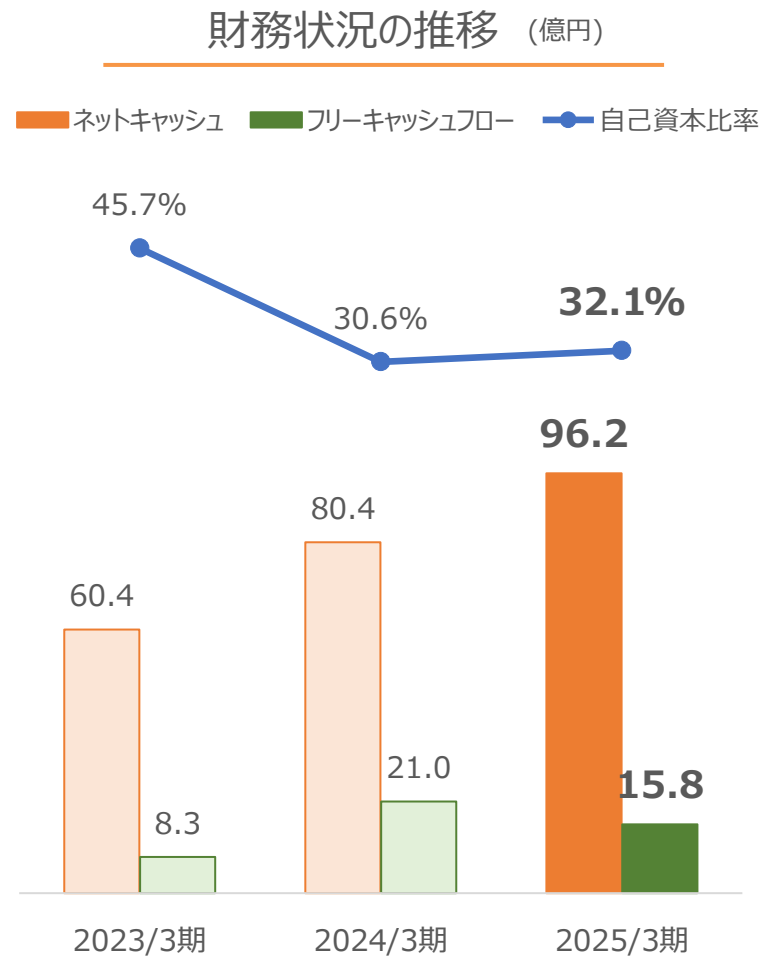
営業利益増減要因 (億円)



バランスシートの状況

- ✓ プライム市場上場基準「純資産50億円以上」を充足。
- ✓ 無借金経営を継続。ネットキャッシュは約96億円。今後も成長のための人員・システムへの投資、M&A含め将来の事業拡大と音楽業界活性化につながる投資、株主還元を引き続き検討。

(億円)	2023/3期	2024/3期	2025/3期	前期比増減
流動資産	67.0	103.4	122.7	+ 19.3
現預金	60.4	80.4	96.2	+ 15.8
売掛債権	2.8	16.0	17.4	+ 1.4
固定資産	11.1	28.9	25.5	▲ 3.4
無形固定資産	7.8	20.7	17.8	▲ 2.9
総資産	78.2	132.3	148.3	+ 16.0
負債	42.4	80.8	91.1	+ 10.3
買入債務	8.7	29.7	34.3	+ 4.6
未払金	26.4	37.8	43.3	+ 5.5
純資産	35.7	51.5	57.1	+ 5.6
負債純資産合計	78.2	132.3	148.3	+ 16.0



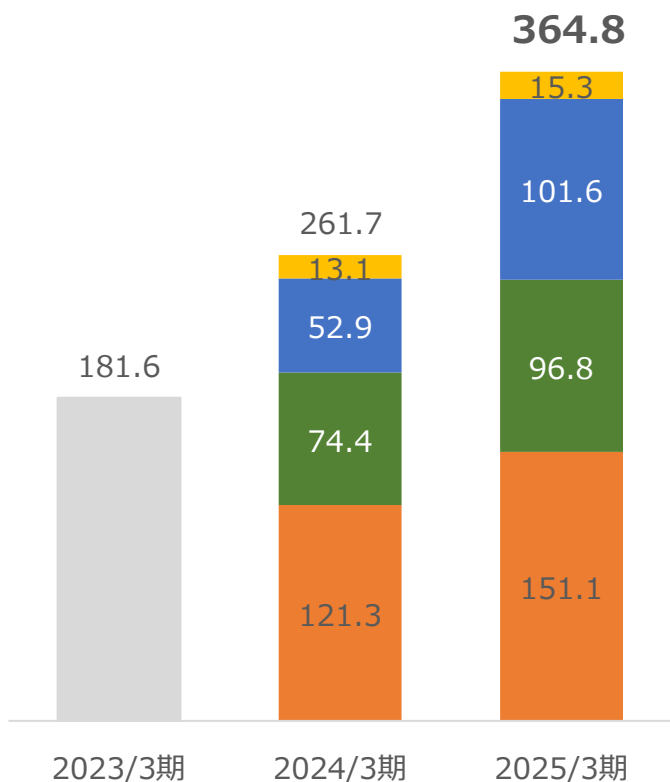
中期業績推移

- ✓ 取扱高及び売上高は、音楽配信市場の拡大と著作権管理楽曲数・取扱原盤数の増加を背景に堅調に推移。
- ✓ レコチョクグループの連結子会社化により取扱高・売上高は大幅増加、経常利益は既存事業拡大により過去最高。

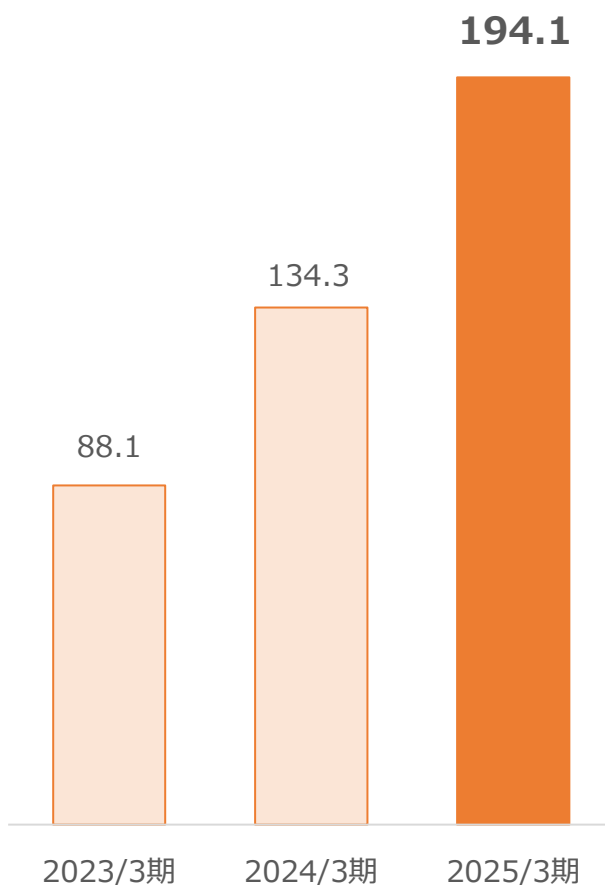
取扱高 (億円)

著作権管理：取扱高＝徴収額
(売上には当社手数料分のみを計上)

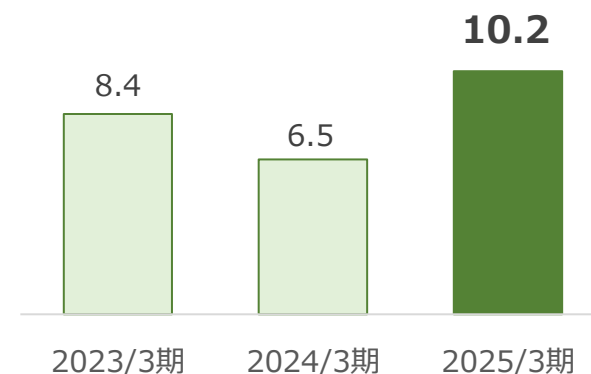
■ 著作権管理 ■ DD ■ 音楽配信 ■ ビジネスサポート・調整



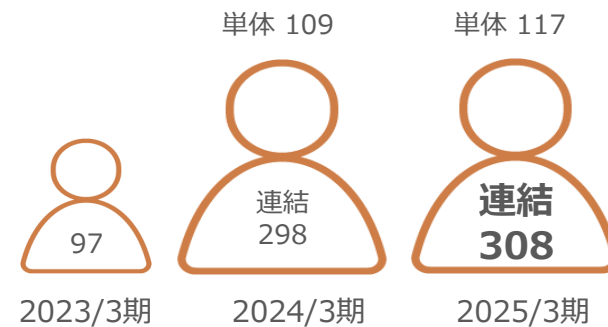
売上高 (億円)



経常利益 (億円)



従業員数 (人)



トピックス

2026年3月期 配当予想（初配）

1株当たり配当金予想

2025年3月期

通期 **0.0**円

中間実績	0.0円
期末実績	0.0円



2026年3月期

通期 **20.0**円

中間予想	0.0円
期末予想	20.0円

(注)上記の配当予想は、発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、実際の配当は今後の様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

株主還元方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、企業体質の強化と将来の事業展開のために内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的に業績に見合った配当をすることを基本方針としております。

今後、安定的かつ継続的に配当を実施するため、当面は1株につき年間20円（中間10円、期末10円）の配当金を基本的な目安とし、業績の拡大を踏まえながら増額を目指していく方針です。

リユース型祝い花サービス「BLONIA」(ブロニア)

- ✓ 2025年5月より、リユース型祝い花サービス「BLONIA」(ブロニア)を開始。

サービスWEBサイト <https://blonia.jp>



サービス コンセプトムービー



サービス展開 市場規模 (当社調べ)



音楽・エンタメ
イベント
約30億円

オフィス向けお祝い (胡蝶蘭など)

約**340**億円

スタンド設置 事例

4月6日
レトロロン ONEMAN TOUR2025
EX THEATER ROPPONGI



4月29日
Amazarashi「电脑演奏監視空間 ゴースト」
横浜アリーナ



4月5-6日
「SYNCHRONICITY'25 Wonder Vision」
LINE CUBE SHIBUYA

4月25日
NexTone Award 2025 授賞式
EX THEATER ROPPONGI



2026年3月期・中期業績計画（2026/3期～2028/3期）

2026年3月期 業績計画

2026年3月期 業績計画	前期比
売上高	
230億円	+ 18.5%
営業利益	
18億円	+ 79.1%
経常利益	
18億円	+ 75.0%
親会社株主帰属当期純利益	
12億円	+ 73.3%

管理楽曲数と取扱原盤数の順調な増加、レコチョクグループの新規サービスの立ち上げにより、増収増益を計画。

【著作権管理事業】

音楽・動画配信市場の引き続きの伸長、録音権や放送分野の徴収額増加を見込むとともに、徴収精度の向上を図る。

【DD事業】

法人権利者の売上拡大とともに、有力個人クリエイターとの契約や海外市場へのアプローチを継続することで増収を見込む。

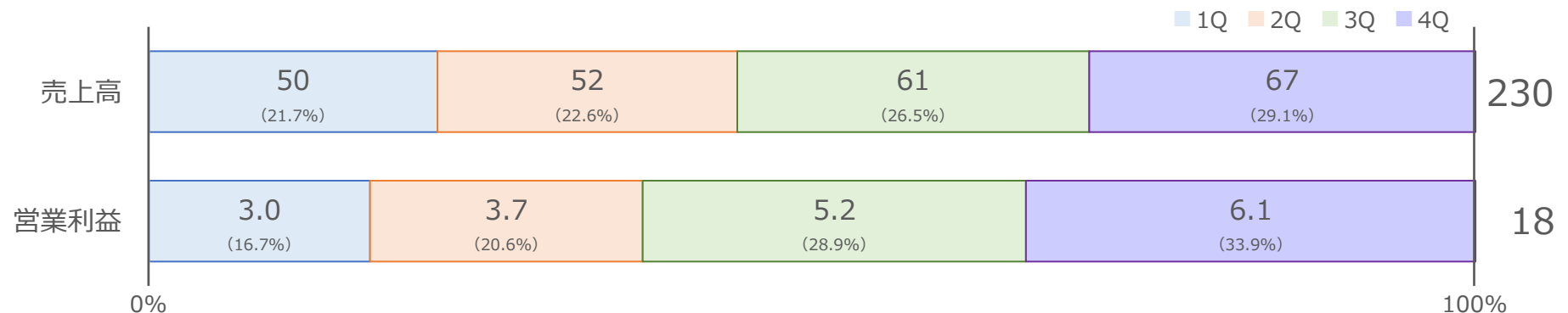
【音楽配信事業】

個人向け音楽配信で安定的に収益を確保しつつ、法人向け音楽配信の新規取引の開拓や新サービスの展開により売上拡大を図る。

【ビジネスサポート事業】

キャスティング事業のサービス拡大、リユース型祝い花サービス「BLONIA」の開始、レコチョクグループの新サービス開始を想定。

四半期毎業績推移計画 (億円)

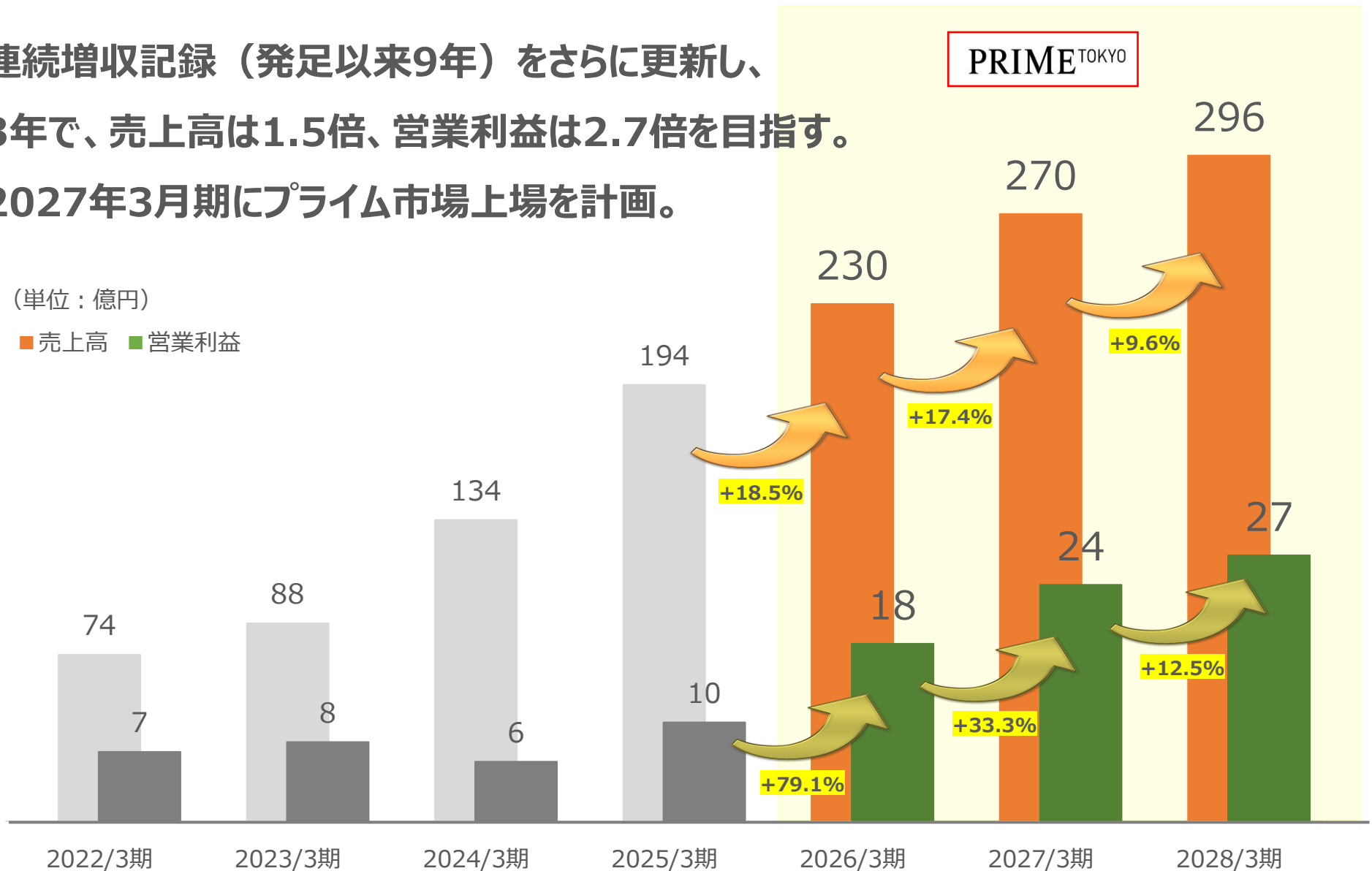


中期業績計画（連結）（2026年3月期～2028年3月期）

連続増収記録（発足以来9年）をさらに更新し、
3年で、売上高は1.5倍、営業利益は2.7倍を目指す。
2027年3月期にプライム市場上場を計画。

（単位：億円）

■ 売上高 ■ 営業利益



中期業績計画（セグメント別）

(億円)	2025/3期	2026/3期		2027/3期		2028/3期	
		計画	前期比増減率	計画	前期比増減率	計画	前期比増減率
売上高	194.1	230	+ 18.5%	270	+ 17.4%	296	+ 9.6%
著作権管理事業	15.2	19.2	+ 26.3%	22.6	+ 17.7%	24.8	+ 9.7%
DD事業	96.8	125.3	+ 29.4%	144.2	+ 15.1%	165.1	+ 14.5%
音楽配信事業	75.8	75.1	▲0.9%	71.3	▲5.1%	67.3	▲5.6%
ビジネスサポート事業	14.9	26.3	+ 76.5%	39.8	+ 51.3%	48.1	+ 20.9%
調整額	▲8.7	▲15.9	—	▲7.9	—	▲9.3	—
販管費	38.2	43	+ 12.6%	44	+ 2.3%	46	+ 4.5%
人件費	23.5	26	+ 10.6%	27	+ 3.8%	29	+ 7.4%
システムその他	14.6	17	+ 16.4%	17	±0	17	±0
営業利益	10.0	18	+ 79.1%	24	+ 33.3%	27	+ 12.5%
著作権管理事業	6.9	8.9	+ 29.0%	11.1	+ 24.7%	12.3	+ 10.8%
DD事業	9.6	12.5	+ 30.2%	13.6	+ 8.8%	15.4	+ 13.2%
音楽配信事業	13.3	14.8	+ 11.3%	14.6	▲1.4%	13.9	▲4.8%
ビジネスサポート事業	▲4.2	▲1.8	—	2.5	—	4.1	+ 64.0%
調整額	▲15.6	▲16.4	—	▲17.8	—	▲18.7	—
営業利益率	5.2%	7.8%	+ 2.6pt	8.9%	+ 1.1pt	9.1%	+ 0.2pt
著作権管理作品数（万曲）	69.1	79	+ 14.3%	91	+ 15.2%	104	+ 14.3%
取扱原盤数（万原盤）	147.0	175	+ 19.0%	200	+ 14.3%	225	+ 12.5%

経営上重視している経営指標

事業KPI

◆ 著作権管理事業の取扱高（%）

目標：伸長率10%以上

2025年3月期：24.5%増

◆ 著作権使用料 徴収額シェア（%）

目標：中期的に10%、長期的に50%

2024年3月期：7.8%

◆ 著作権管理楽曲数

目標：每期10万曲以上増加

2025年3月期：17万曲増、69.1万曲

◆ 取扱原盤数（NexTone+レコチョク+エッグス）

目標：每期23万原盤以上増加

2025年3月期：20.7万原盤増、147.0万原盤

財務KPI

◆ 売上高（金額）

目標（2028/3期）：296億円以上

2025年3月期：194.1億円

◆ 対前期売上高（%）

目標（2028/3期）：伸長率10-20%

2025年3月期：44.6%

◆ 営業利益率（%）

目標（2028/3期）：9%以上

2025年3月期：5.2%

◆ 経常利益の増加（金額）

**目標（2026年3月期まで）：プライム基準充足
（2年で合計25億円）**

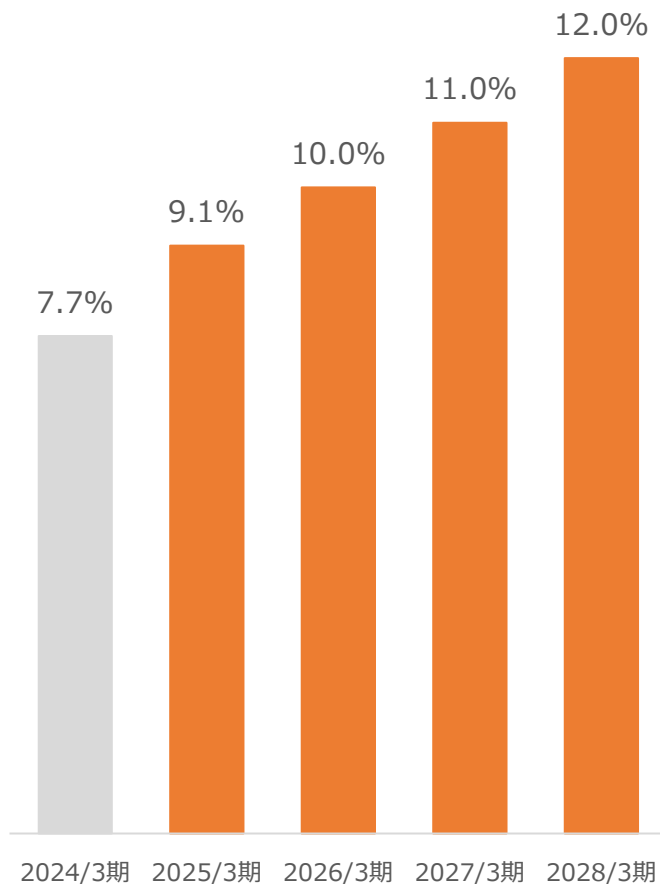
2025年3月期：10.2億円

（注）中期業績計画変更に伴い、KPIの見直しをおこなっております。

2024年3月期よりレコチョク及びエッグスの取扱原盤数を合算しております。

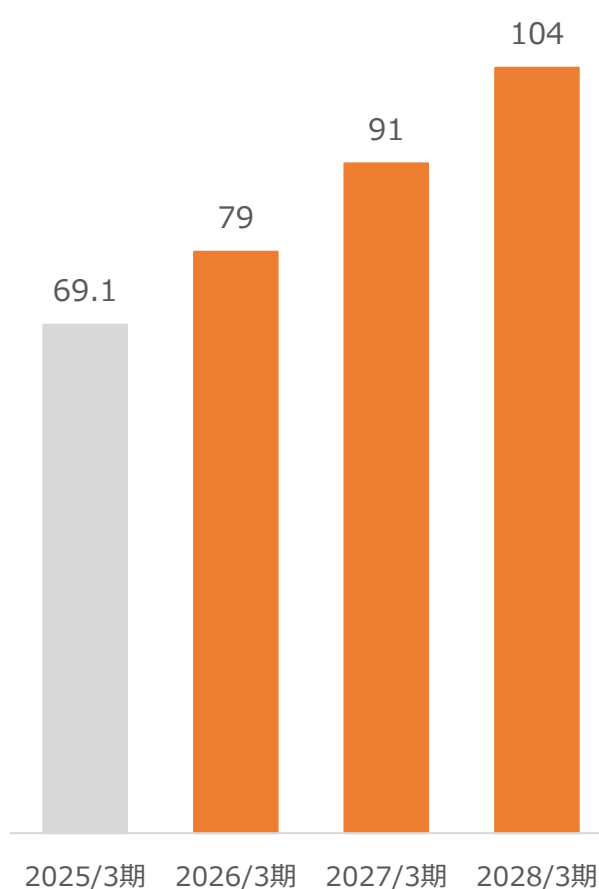
事業KPIの拡大計画

◆ 著作権使用料 徴収額シェア (%)
目標：中期的に10%、長期的に50%



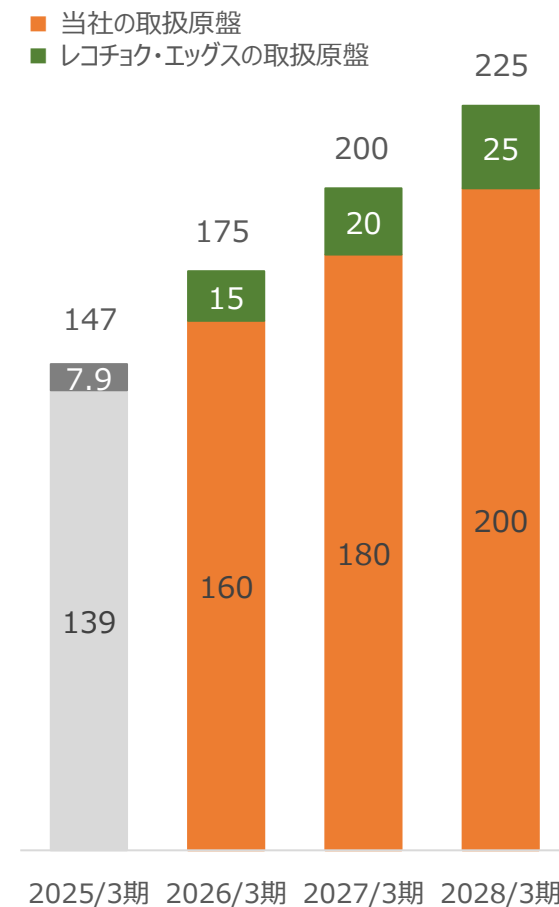
◆ 著作権管理楽曲数
目標：每期10万曲以上増加

(単位：万曲)



◆ 取扱原盤数
目標：每期23万原盤以上増加

(単位：万原盤)



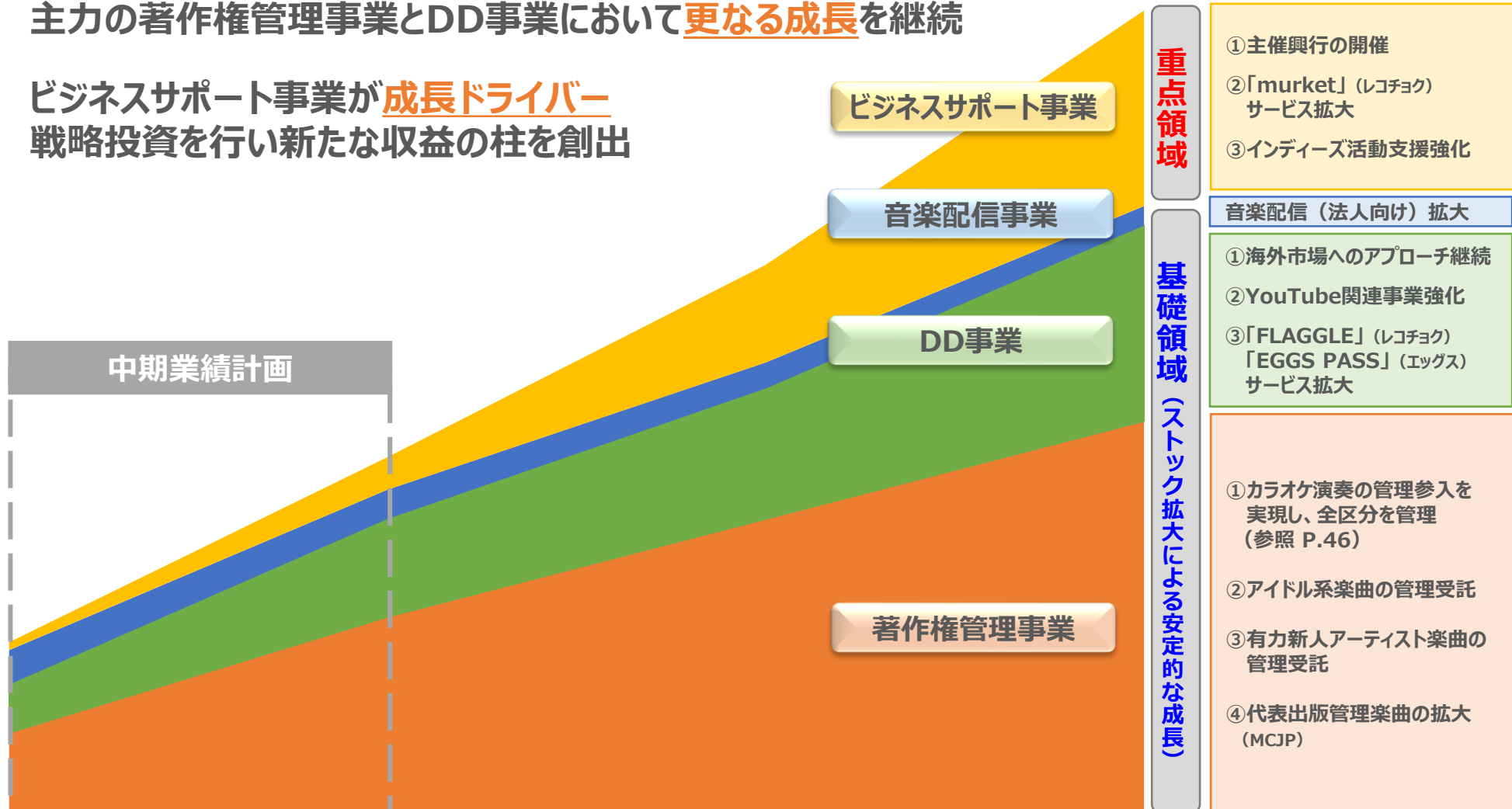
※2025/3期以降のシェアは、JASRACの著作権使用料徴収額が前期比6%拡大することを仮定して算出しております。

今後の成長戦略

事業成長イメージ（取扱高ベース）

主力の著作権管理事業とDD事業において更なる成長を継続

ビジネスサポート事業が成長ドライバー
戦略投資を行い新たな収益の柱を創出



サステナビリティの取り組み／人的資本方針

サステナビリティポリシー

当社グループは次代を奏でるオンリーワン・エージェントとして、音楽著作権の管理と利用促進を推進する事業や権利者・クリエイターをサポートする事業を継続的に拡大し、適正な徴収・分配・支援を行うことで、豊かな社会の実現、音楽文化・音楽産業のより一層の発展、持続可能でより良い社会の実現に貢献します。

Environment

環境

Social

社会

Governance

ガバナンス

マテリアリティ

DXの推進	音楽文化・音楽産業の持続的な発展	信頼性の高いシステム
	人材の育成・活用	ガバナンスの強化

人的資本に関する指標（2025年3月末時点）

指標	単体	連結	目標
女性管理職比率	21.1%	22.5%	2026年度 30%以上
男女間賃金格差（※1）	69.6%	69.9%	2026年度 75%以上
男性育児休業取得率	100%	66.7%（※2）	75%以上
有給休暇消化率（※3）	48.5%	38.3%	2026年度 60%以上

- （※） 1. 男女間賃金格差算出において、平均給与等の算出対象から休職者および臨時従業員（週20時間未満勤労者）を除外しております。
2. 一部のグループ会社においては独自にフレックス制度や、在宅勤務等の柔軟な勤務制度を採用するなど、各社が育児・仕事の両立が可能な働き方を推奨しております。
3. 有給休暇取得日数には、前事業年度有給休暇の繰越分を取得した分も含めております。

APPENDIX 会社概要

会社概要

社 名	株式会社NexTone [英語名：NexTone Inc.]			
代 表 者	代表取締役CEO 阿南 雅浩			
設 立 年 月	2000年9月（2016年2月、イーライセンスとジャパン・ライツ・クリアランスが合併してNexToneに商号変更）			
本社所在地	渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー10F			
資 本 金	1,218百万円（2025年3月末）			
役 員 構 成	代表取締役CEO 代表取締役COO 専務取締役 取締役 社外取締役 社外取締役	阿南 雅浩 荒川 祐二 名越 禎二 渡邊 史弘 高橋 信彦 阿部 優子※	社外取締役 常勤監査役 社外監査役 社外監査役	小坂 準記※ 渡辺 和敏 小林 伸之※ 大嶋 敏史※ ※ 当社は、阿部優子、小坂準記、小林伸之及び大嶋敏史の4名を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定しております。
事 業 内 容	著作権管理事業／DD事業／音楽配信事業／ビジネスサポート事業			
売 上 規 模	連結：19,412百万円（2025年3月期）			
従 業 員 数	連結：308名、単体：117名（2025年3月末）※アルバイトを除く			
総 資 産	14,831百万円（2025年3月末）			
グループ会社	株式会社エムシージェイピー、株式会社NexToneシステムズ、株式会社レコチョク、株式会社エッグス			

- ✓ レコチョクとの資本業務提携によって、将来的に音楽著作権管理にとどまらない総合音楽エージェントとして目指すべき理想像を明文化し、存在意義を見直すことを目的として2024年4月1日付で企業理念を改定。

企業理念

For the Future of Music

～音楽文化・音楽産業の発展のために、私たちは挑戦を続けます～

ビジョン

次代を奏でるオンリーワン・エージェント

当社グループの事業のマトリックス図



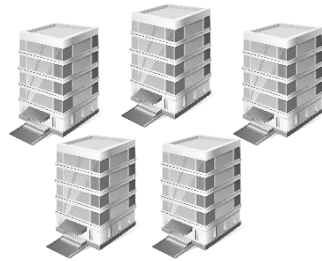
創業の経緯（沿革）

- ✓ 「著作権等管理事業法」施行により、デジタル化の進展を想定した多数の民間企業が当事業に参入。
 - ✓ 当社はその中の2社「(株)イーライセンス」・「(株)ジャパン・ライツ・クリアランス」が合併統合し発足。
 - ✓ 参入障壁は非常に高く、各社実質撤退。
- 現在は、JASRAC に対抗する唯一の民間企業として活動中。

「低廉な手数料」
「楽曲のボリュームと継続的な
楽曲提供が必要」
「専門知識・システム投資が必要」

実質撤退へ *1

他社(20数社)



音楽著作権等管理事業に
多くの民間会社が新規参入

2000年11月
「著作権等管理事業法」*2 成立

2000年9月

(株)イーライセンス

2000年12月

(株)ジャパン・ライツ・クリアランス

2023年9月

(株)レコチョク

資本業務提携

2016年2月

当社

NexTone

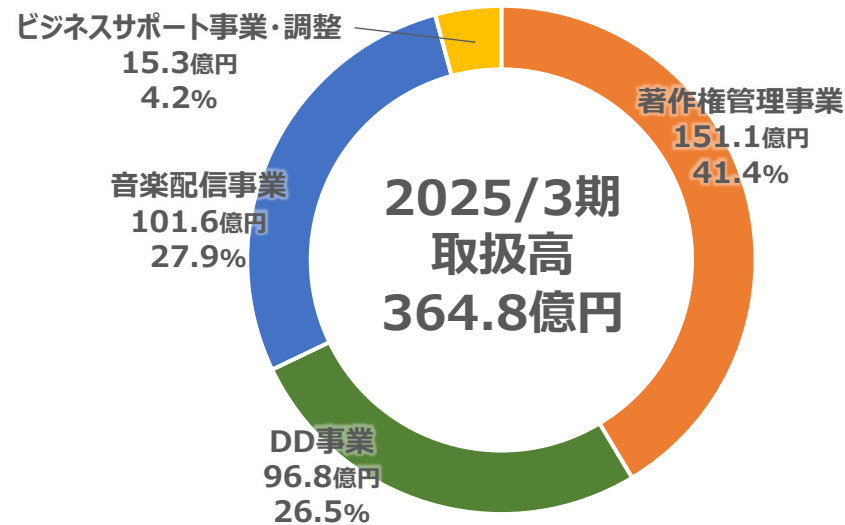
合併・事業統合

一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）

*1 企業登録は残っているものの、楽曲管理はJASRACに既に移管している状態

*2 「著作権等管理事業法」成立前は、一般社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)が法律「著作権ニ関スル仲介業務ニ関スル法律」で唯一認可された管理事業者

- ✓ 主幹事業である「著作権管理事業」の他、「DD事業」「音楽配信事業」「ビジネスサポート事業」を展開し、音楽産業における権利者と利用者の双方を幅広くサポート。

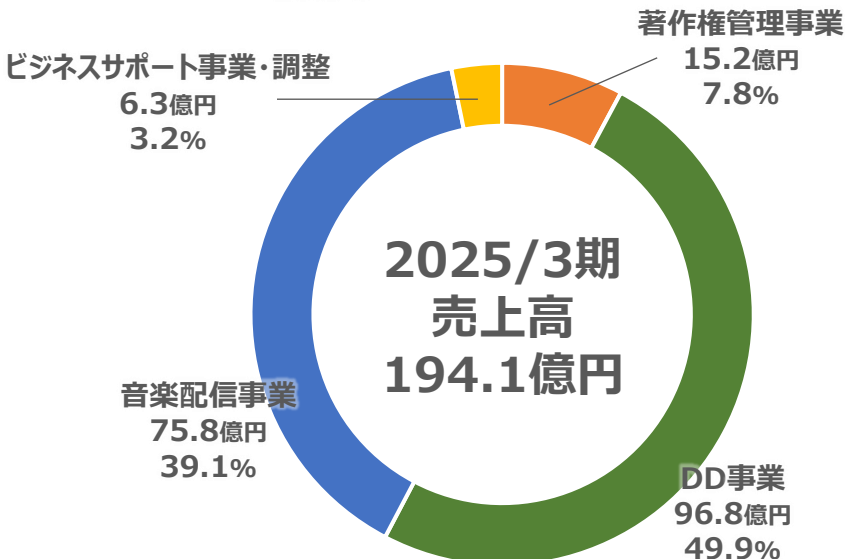


■ 著作権管理事業

著作権者から委託を受けた音楽著作物の利用許諾と、使用料の徴収・分配業務、音楽出版社業務の代行サービス

■ DD事業

国内外の音楽配信事業者に向けた音楽・映像コンテンツの供給、YouTubeにおけるコンテンツマネージメントサービス



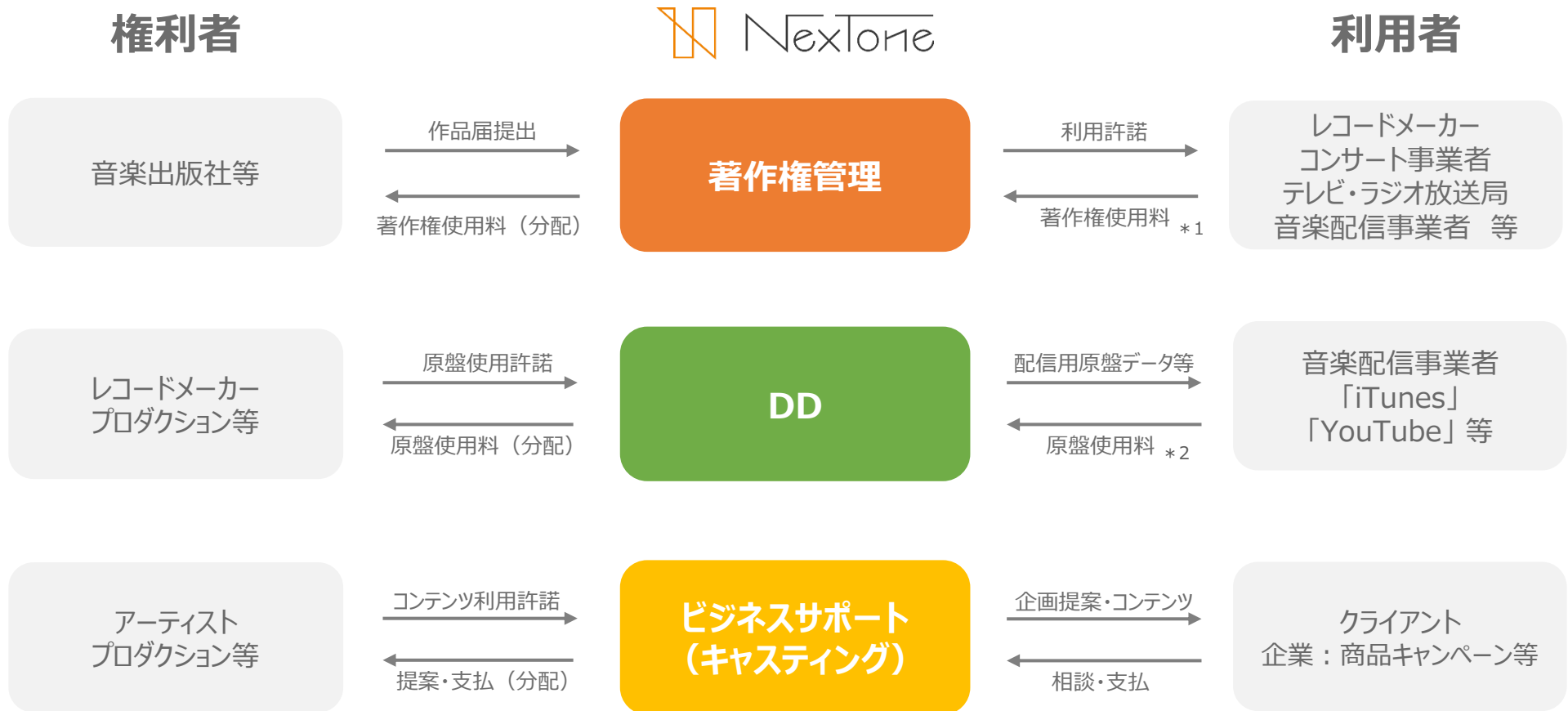
■ 音楽配信事業

音楽配信（個人向け）、音楽配信（法人向け）

■ ビジネスサポート事業

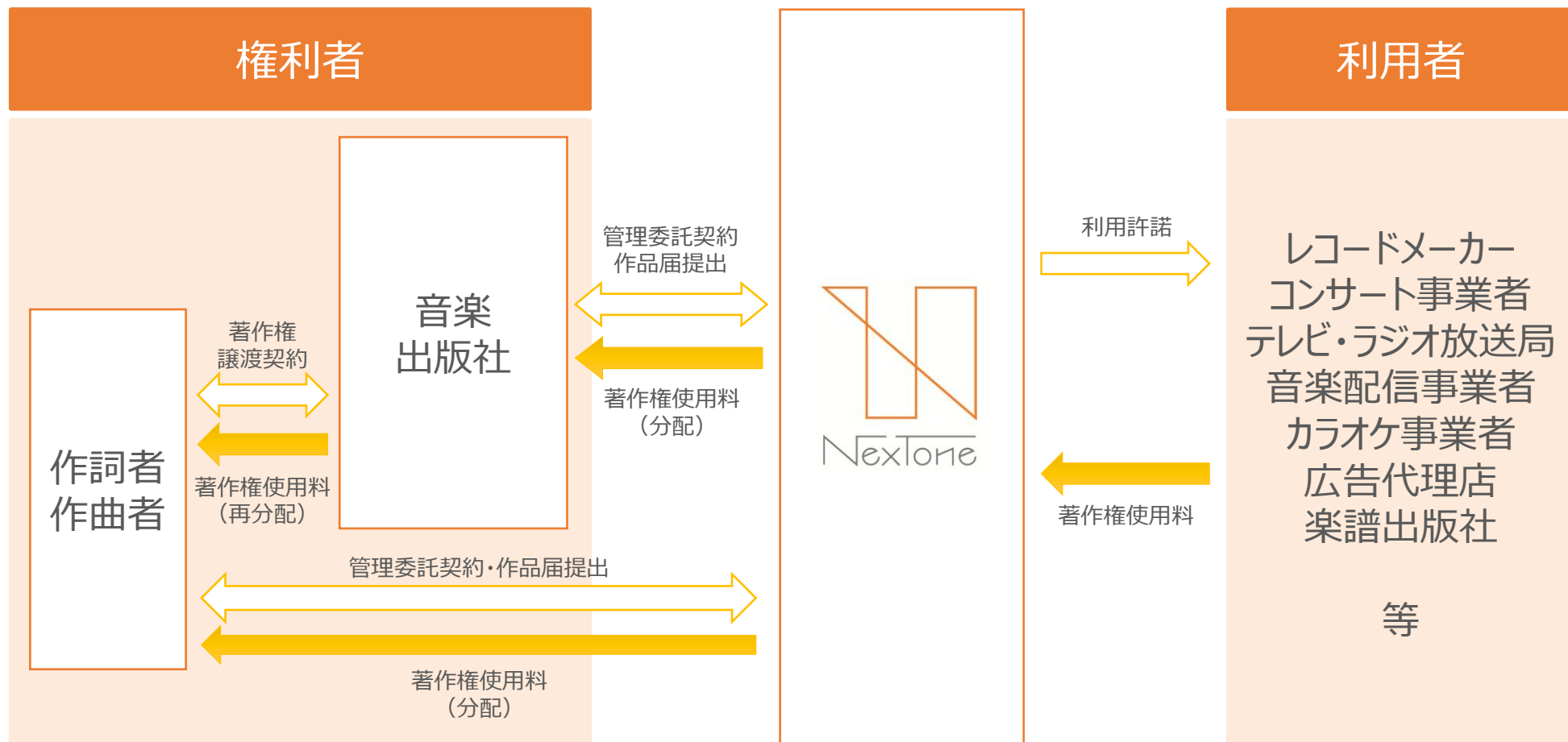
キャスティング、ソリューション、エージェント（インディーズ活動支援）、システム開発等の業務支援

- ✓ 当社は、権利者と利用者との仲介エージェントとして機能。
- ✓ 基本的に利用者より使用料を徴収し、コンテンツホルダー他に分配するストック型ビジネスを展開。



*1 徴収金額のうち当社の手数料分のみを売上計上
 *2 徴収金額を売上計上

当社の著作権管理事業の基本的な流れ



著作権管理事業

【管理対象】

楽曲

作家によって
制作された
音楽著作物

「歌詞」「メロディ」



管理

NextTone



利用者である
「レコードメーカー」
「コンサート事業者」
「テレビ・ラジオ放送局」
「音楽配信事業者」
「カラオケ事業者」等に
音楽著作物の利用を
許諾し、使用料を徴収・分配

DD事業

【管理対象】

原盤

アーティストによって
実演収録された
オリジナルコンテンツ
「音源・映像データ」



管理

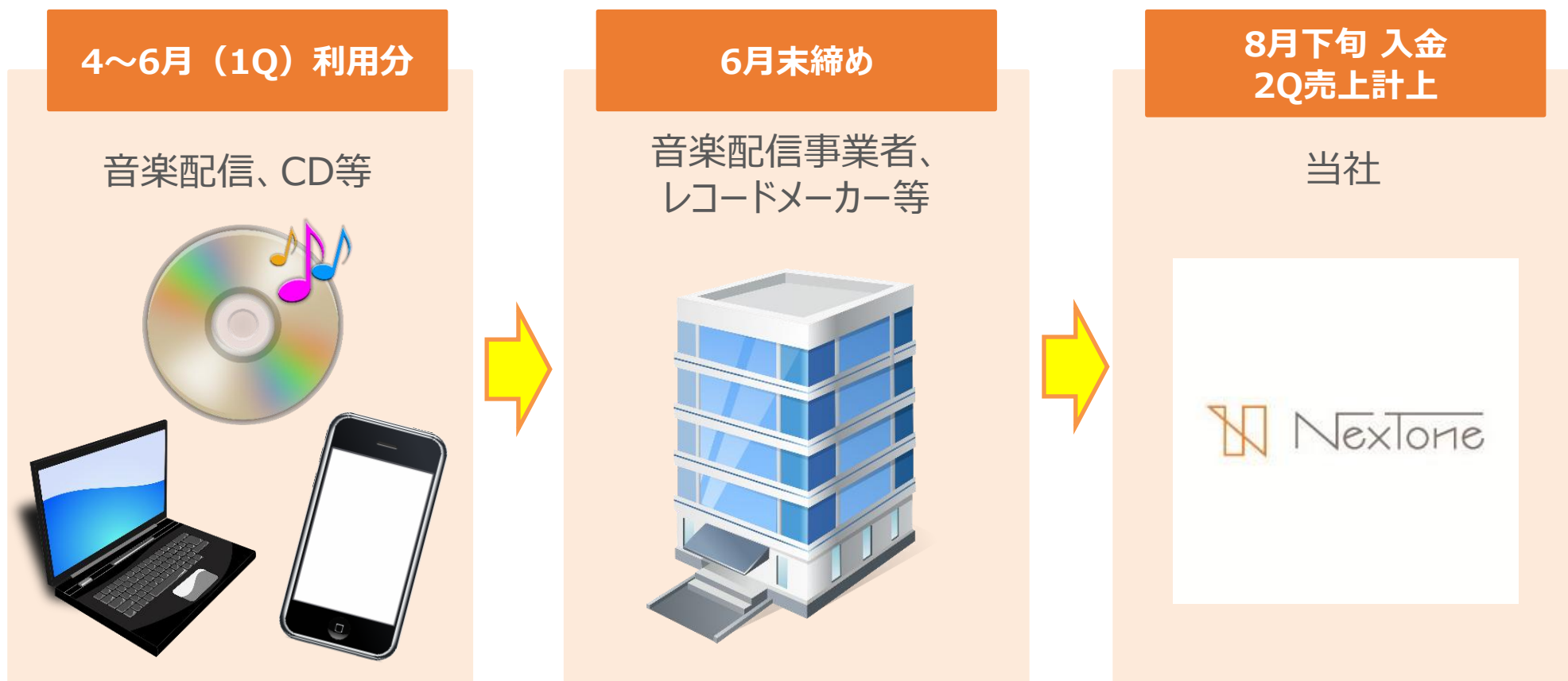
NextTone



オリジナルコンテンツを
国内・海外の
音楽配信サービス
「iTunes」
「YouTube」
「amazon music」
「Spotify」
等に供給し、使用料を
徴収・分配

著作権管理事業：利用と売上計上のタイムラグ

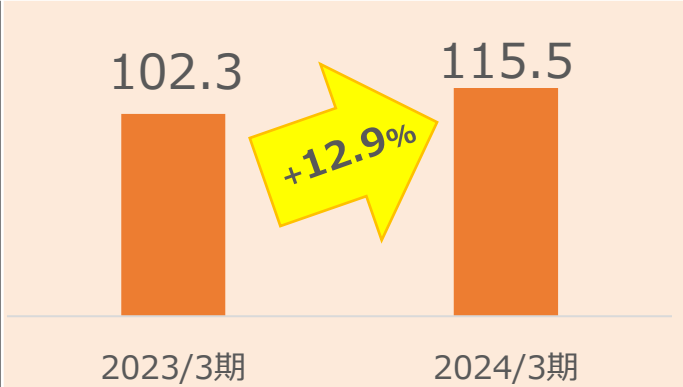
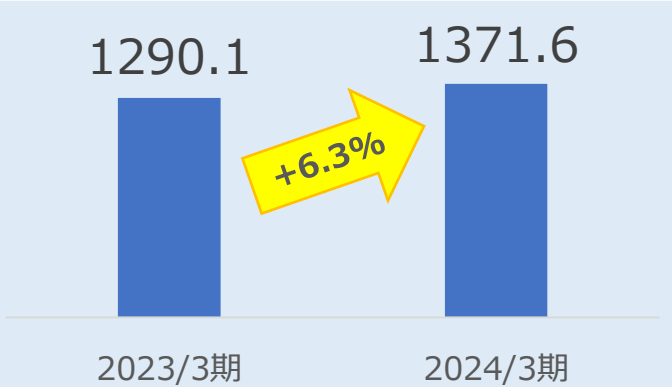
- ✓ 配信、録音、出版、貸与等は下図の通り、利用時期と売上計上時期に1 Q分のタイムラグが存在。
- ✓ 放送、業務用通信カラオケは2 Q分のタイムラグが存在。



JASRACとの比較

【当社の著作権管理の特徴】

- ✓ 権利者の意向を最大限取り入れた柔軟な管理。
- ✓ 管理楽曲の詳細な利用状況が分かる透明性の高い分配明細の他、分配アナリティクスツールを提供。

	当社	JASRAC																		
著作権使用料徴収額 (2024/3期 実績)	115.5億円	1,371.6億円																		
著作権使用料徴収額 推移	 <table><thead><tr><th>期</th><th>徴収額 (億円)</th><th>増減率</th></tr></thead><tbody><tr><td>2023/3期</td><td>102.3</td><td></td></tr><tr><td>2024/3期</td><td>115.5</td><td>+12.9%</td></tr></tbody></table>	期	徴収額 (億円)	増減率	2023/3期	102.3		2024/3期	115.5	+12.9%	 <table><thead><tr><th>期</th><th>徴収額 (億円)</th><th>増減率</th></tr></thead><tbody><tr><td>2023/3期</td><td>1290.1</td><td></td></tr><tr><td>2024/3期</td><td>1371.6</td><td>+6.3%</td></tr></tbody></table>	期	徴収額 (億円)	増減率	2023/3期	1290.1		2024/3期	1371.6	+6.3%
期	徴収額 (億円)	増減率																		
2023/3期	102.3																			
2024/3期	115.5	+12.9%																		
期	徴収額 (億円)	増減率																		
2023/3期	1290.1																			
2024/3期	1371.6	+6.3%																		
管理手法	主にデジタル管理	アナログ／デジタル管理の混在																		
著作権等の管理範囲	「社交場・カラオケ演奏等」以外	全領域																		
委託者（著作権者） との契約形態	委託契約 ＜委任／取次＞	信託契約 ＜著作権はJASRACに移転＞																		
権利者の意思反映	権利者裁量により 柔軟に料率変更が可能	権利者の意思が反映し難い																		

- ✓ 2000年の法改正により、20数社程度が新規参入を表明。
- ✓ しかし、当社以外の新規参入社は全て実質事業を縮小。現在は、JASRACと当社の実質2社体制。
- ✓ 日々の膨大な著作権利用に係るデータや情報のシステム管理と具体的料金徴収及び分配金支払業務はかなりの負担。新規参入障壁は高い。

著作権管理事業への参入障壁

① 著作権管理は手数料5.0～9.8%の低収益事業

② 日々の膨大かつ複雑な著作権利用に係るデータや情報のシステム管理能力が必要

③ 有力著作権者からの安定的かつ継続的な楽曲管理委託が必要



2000年の法改正で
20数社が登録するも、
現在は実質上の撤退状態



当社は音楽著作権管理事業における
「唯一」の民間企業
JASRACと当社の実質2社体制へ

特徴と強み② 利用促進のプロモーター

- ✓ 楽曲の利用状況データは利用促進への重要なアセットとしても活用。
- ✓ データを活用した音楽配信事業者へのコンテンツ供給（DD）やキャスティングにより、楽曲の浸透速度を加速。

音楽著作権の管理のみならず、利用促進まで手がけるオンリーワン・エージェント



音楽コンテンツの利用促進をコーディネート

音楽配信事業者に向けた
音楽・映像コンテンツの供給

VTuberグループ「hololive（ホロライブ）」との取組事例



著作権管理

音楽出版社
業務代行

DD

CRIP
YouTubeにおける音楽
カバー動画の収益向上施策

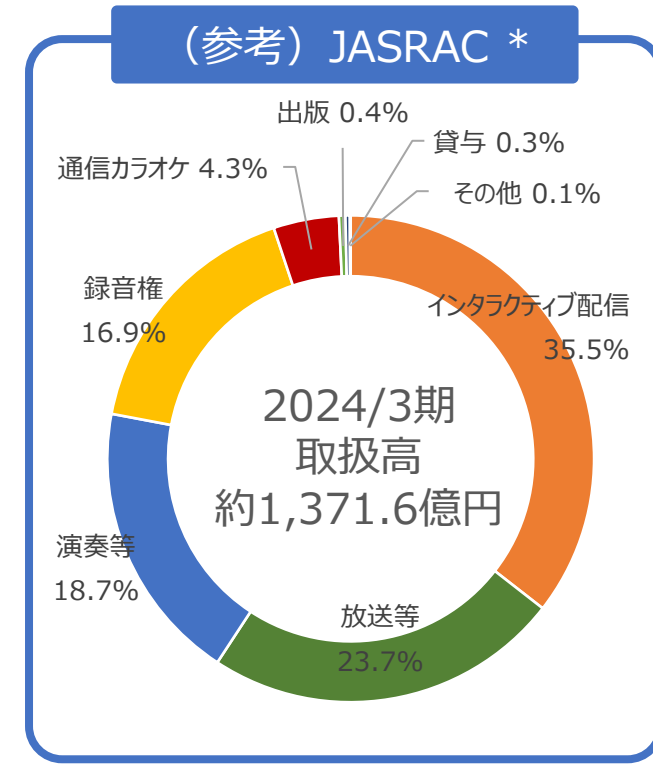
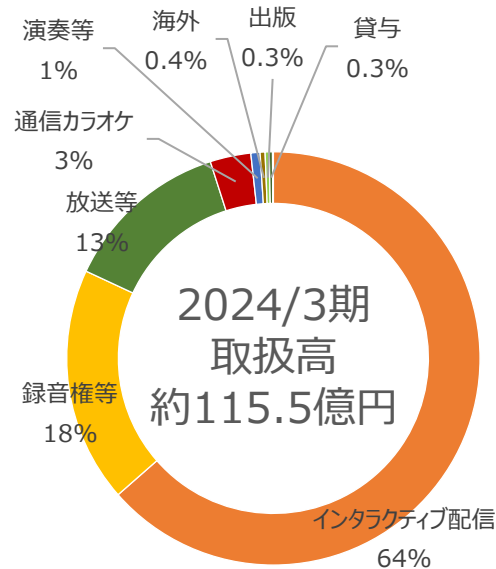
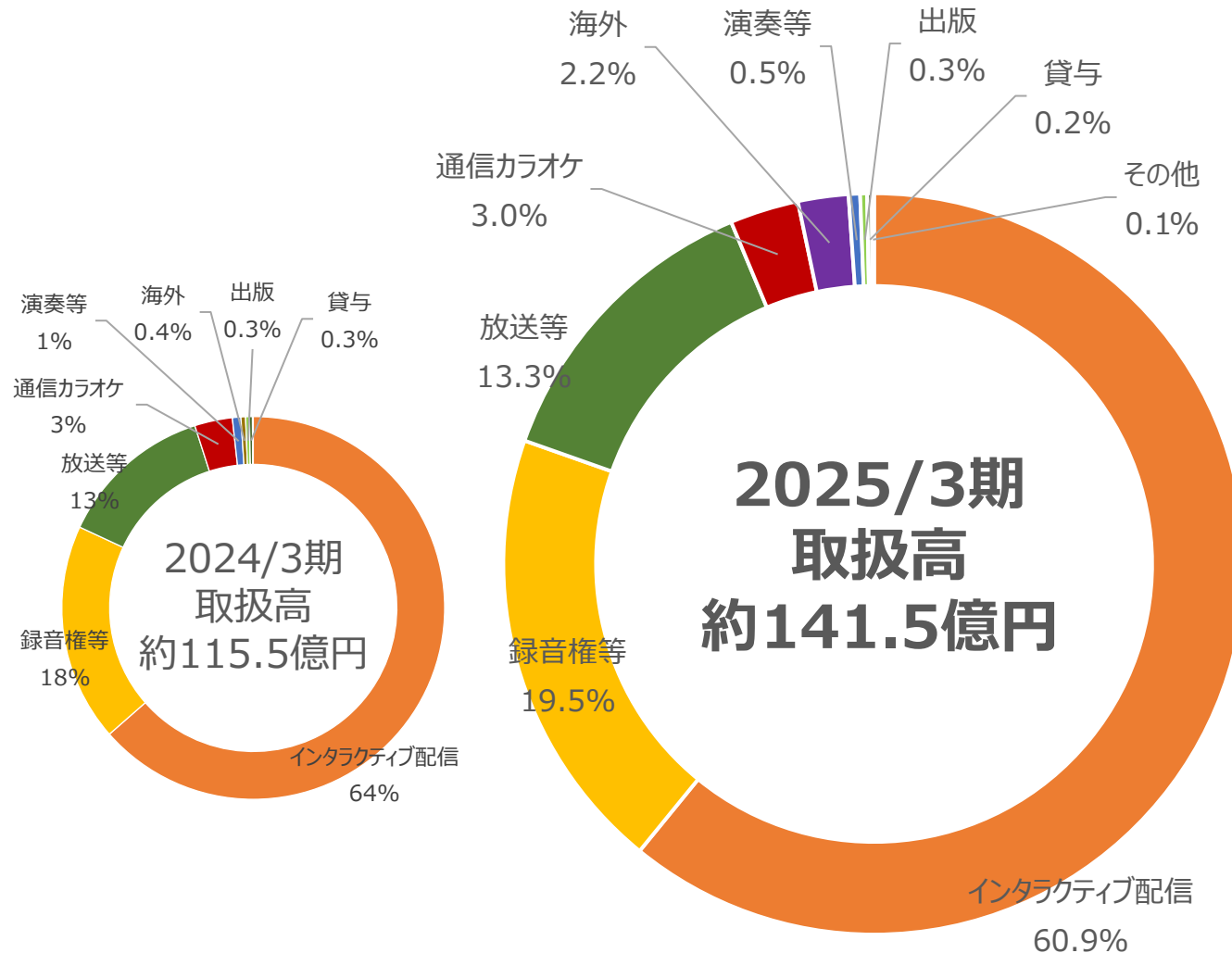
- ✓ 音楽著作権は、4つの支分権＜(1)～(4)＞と9つの利用形態＜(5)～(13)＞により形成。*
- ✓ 当社は2022年4月時点で「(6)社交場・カラオケ演奏等」を除くすべての領域を管理。

(1) 演奏権等	(2) 録音権等	(3) 出版権等	(4) 貸与権
(5) 上映・BGM等 (6) 社交場・カラオケ演奏等	CDの複製等 (7) 映画への録音 (8) ビデオグラム等への録音 (9) ゲームへの録音 (10) 広告目的で行う複製 テレビ・ラジオCMへの複製 インターネットCMへの複製 広告印刷物への歌詞の複製 等	歌詞集の印刷 楽譜の印刷 等	CDのレンタル
(11) 放送・有線放送	テレビ・ラジオでの放送 等		
(12) インタラクティブ配信	スマートフォン・パソコンへの配信 等		
(13) 業務用通信カラオケ	カラオケ施設での歌唱のための複製、公衆送信 等		

*2022年4月に「(1)演奏権等」の区分に、「(5)上映・BGM等」「(6)社交場・カラオケ演奏等」を新設。

取扱高内訳推移

- ✓ 著作権管理事業における取扱高のうち「インタラクティブ配信」の割合が全体の約60%。
- ✓ 今期よりアイドルグループ楽曲の管理を開始したこともあり「録音権等」の割合が増加。



*一般社団法人日本音楽著作権協会
<https://www.jasrac.or.jp/index.html>

レコチョク 会社概要



会社名	株式会社レコチョク
ミッション	音楽市場の最大活性化
ビジョン	人と音楽の新しい関係をデザインする。
設立日	2001年7月
資本金	170百万円
主要株主	・株式会社NexTone ・エイベックス・エンタテインメント株式会社 ・株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント ・ビクターエンタテインメント株式会社
代表	代表取締役社長 板橋 徹
取扱高/売上高	取扱高：126億円 / 売上高：86億円（2025年3月期） ※エッグスとの連結
従業員数	191名（連結）（2025年3月末時点） ※エッグスとの連結
事業内容	・音楽配信事業（個人向け、法人向け） ・ソリューション事業
関係会社	- 株式会社エッグス ・インディーズアーティスト活動支援事業を展開

音楽配信 (個人向け)

アラカルト



ストリーミング



音楽配信 (法人向け)



WEDDING MUSIC BOX
by USEN

ソリューション (権利者向けビジネス支援)

直販ビジネス支援



配信・流通支援



DX/運用等 業務支援

エッグス (インディーズ活動支援)

メディア



DIY向け 配信・流通支援



グッズ販売/ライブ/ライセンス エージェント

グループ
セグメント

音楽配信

DD

ビジネスサポート

権利者

レコチョク®

利用者



音楽配信

(個人向け・法人向け)

ソリューション

(権利者向けビジネス支援)

エッグス

(インディーズ活動支援)

確実な収益確保

既存アセットを有効活用し
既存顧客維持＋確実に既存代替

投資拡大で早期成長

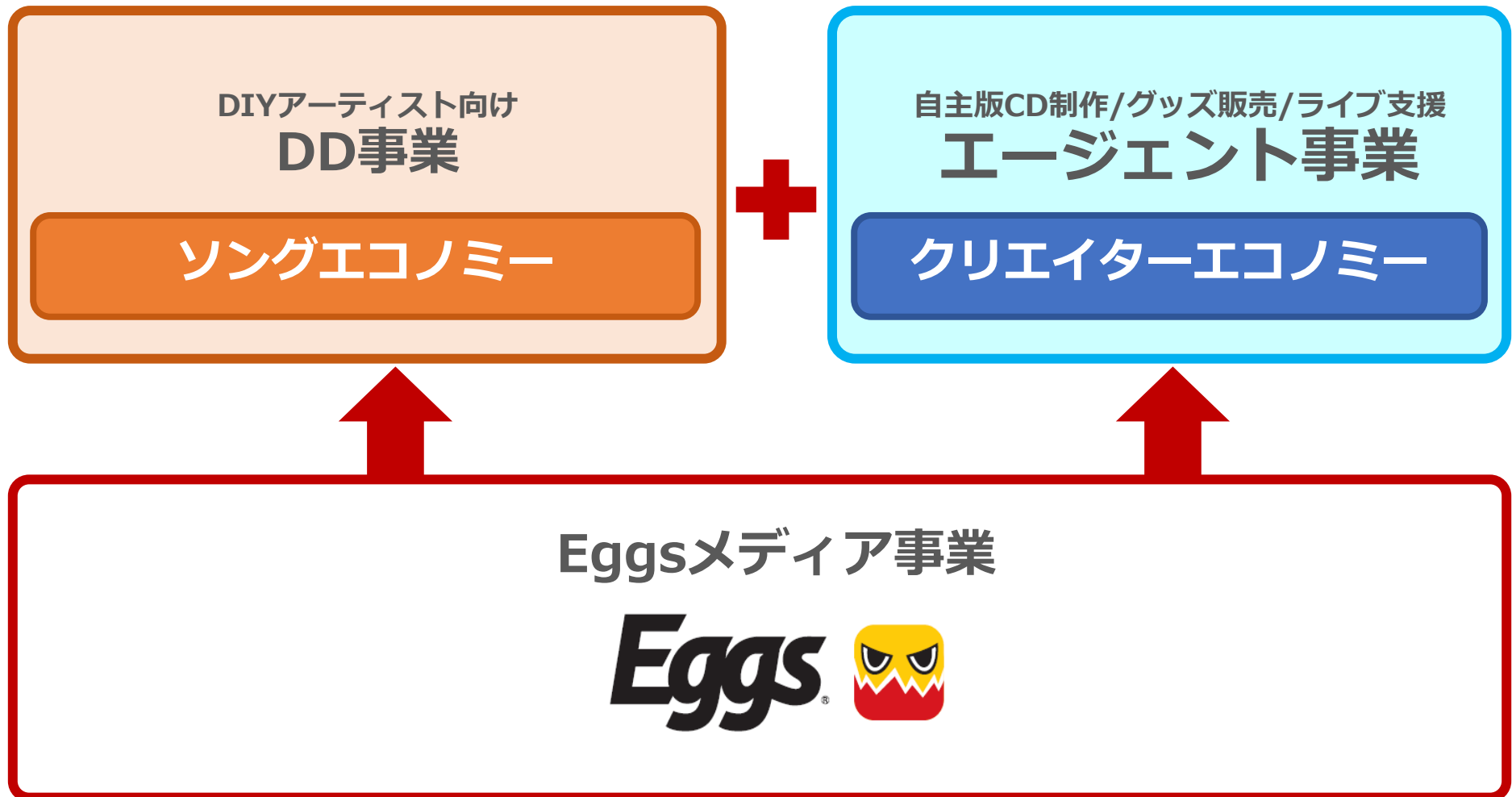
新たな価値創造(投資拡大)で
事業成長＋早期収益化

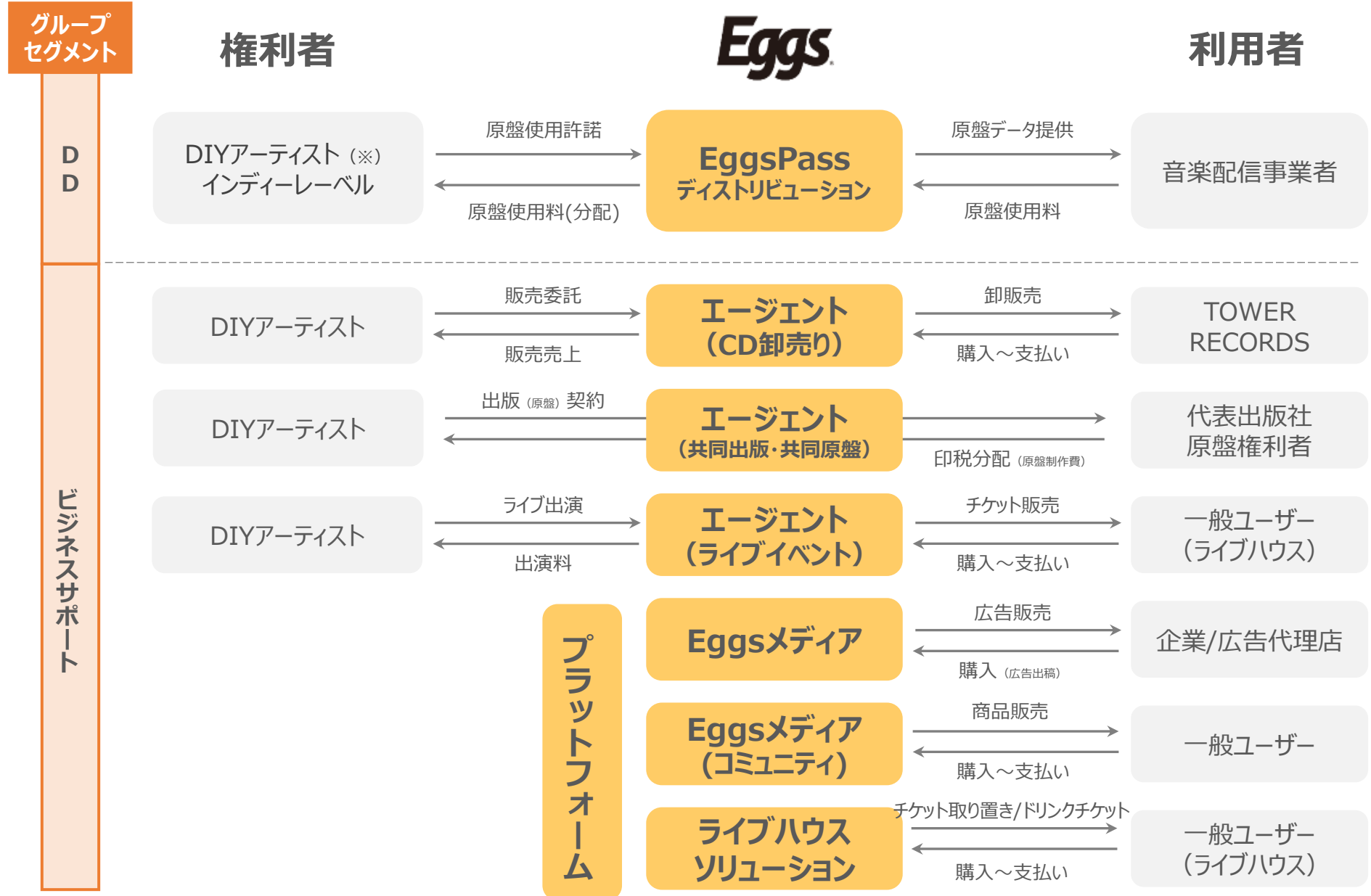
**成長
戦略**

レコチョク
収益確保 及び エッグス
早期成長 により グループ全体
再成長

会社名	株式会社エッグス
ミッション	多様な音楽があふれる未来をつくる。
ビジョン	アーティストとファンに一つでも多くの出会いを。
設立日	2019年12月
資本金	100百万円
主要株主	株式会社レコチョク
代表	代表取締役 柴崎 栄太郎
取扱高/売上高	売上高：803百万円（2025年3月期）
従業員数	20名（2025年3月末時点）（レコチョクからの出向者を含む）
事業内容	インディーズアーティスト活動支援事業 ・DD事業 ・エージェント事業

インディーズアーティスト活動支援事業





EggsPass/エージェント

プラットフォーム

早期の収益確保

投資拡大で早期成長

協業アセット/PF連携による
売り伸ばし+コスト最適化

新たな価値創造(投資拡大)で
事業成長+早期収益化

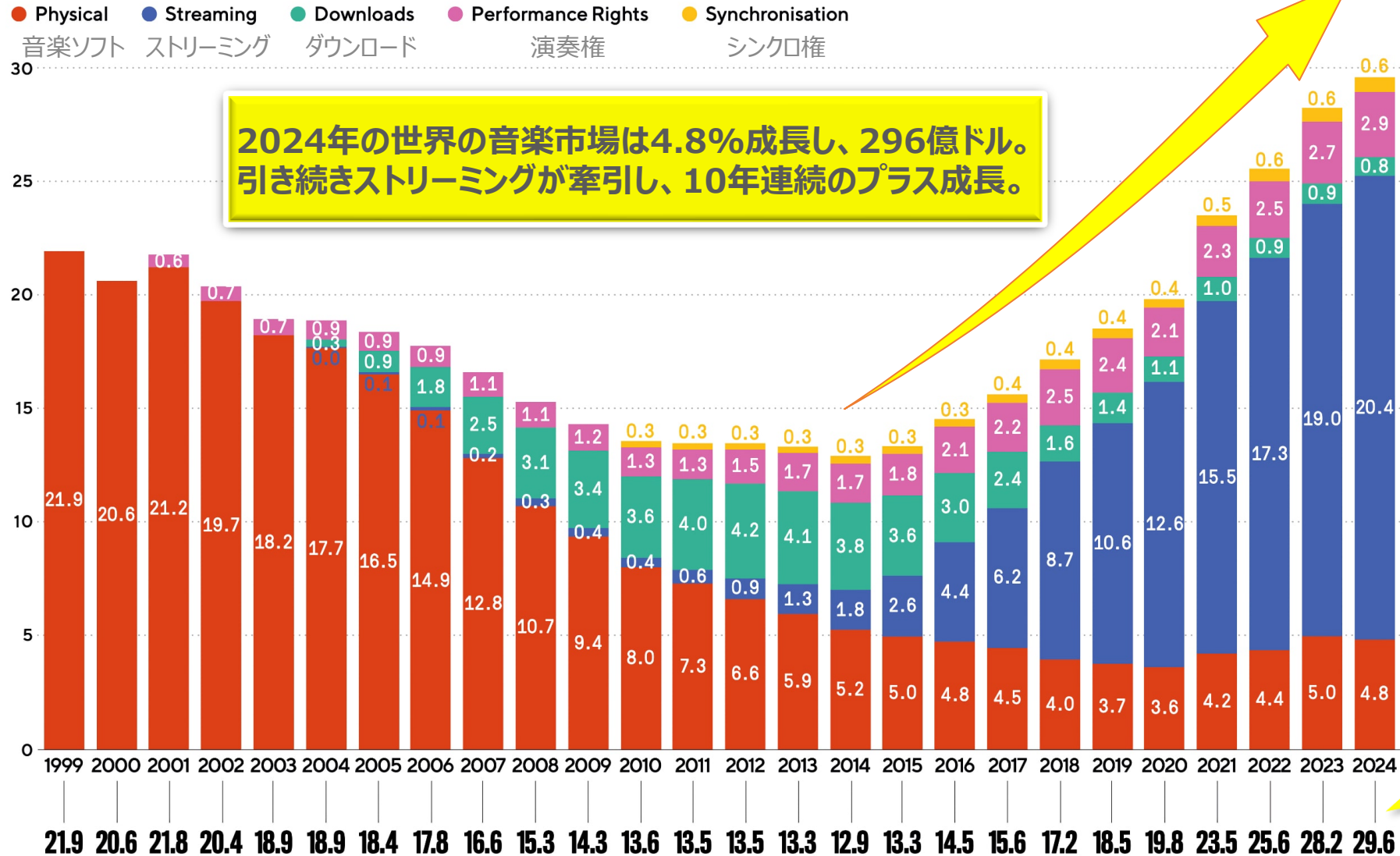
**成長
戦略**

**プラットフォーム事業への投資拡大による
早期事業成長と収益化**

APPENDIX 関連市場データ

世界の音楽市場 売上推移

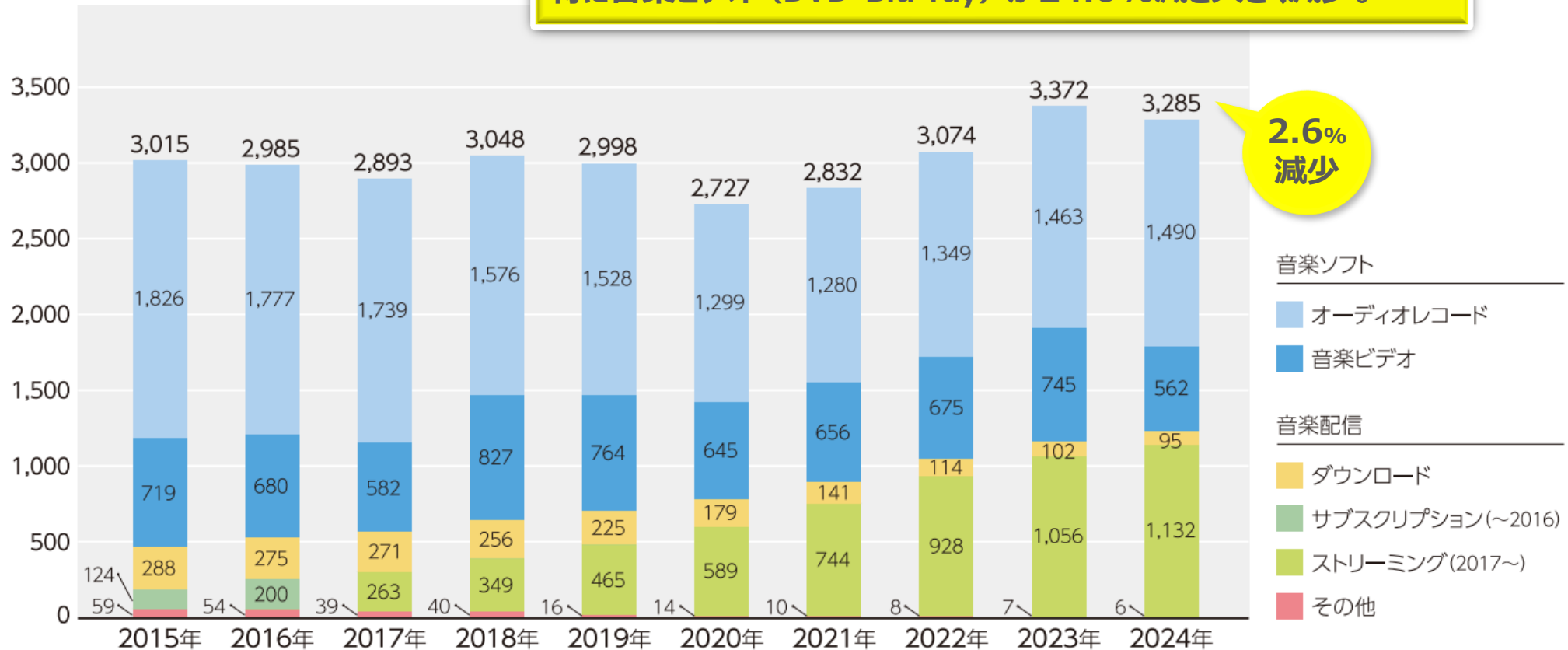
Global recorded music industry revenues 1999-2024 (US\$ billions)



国内の音楽ソフト生産・音楽配信売上実績金額推移

(億円)

音楽配信売上高は5.8%増の1,233億円となり11年連続増加。
音楽ソフト売上高は7.1%減の2,052億円。
特に音楽ビデオ（DVD・Blu-ray）が24.6%減と大きく減少。



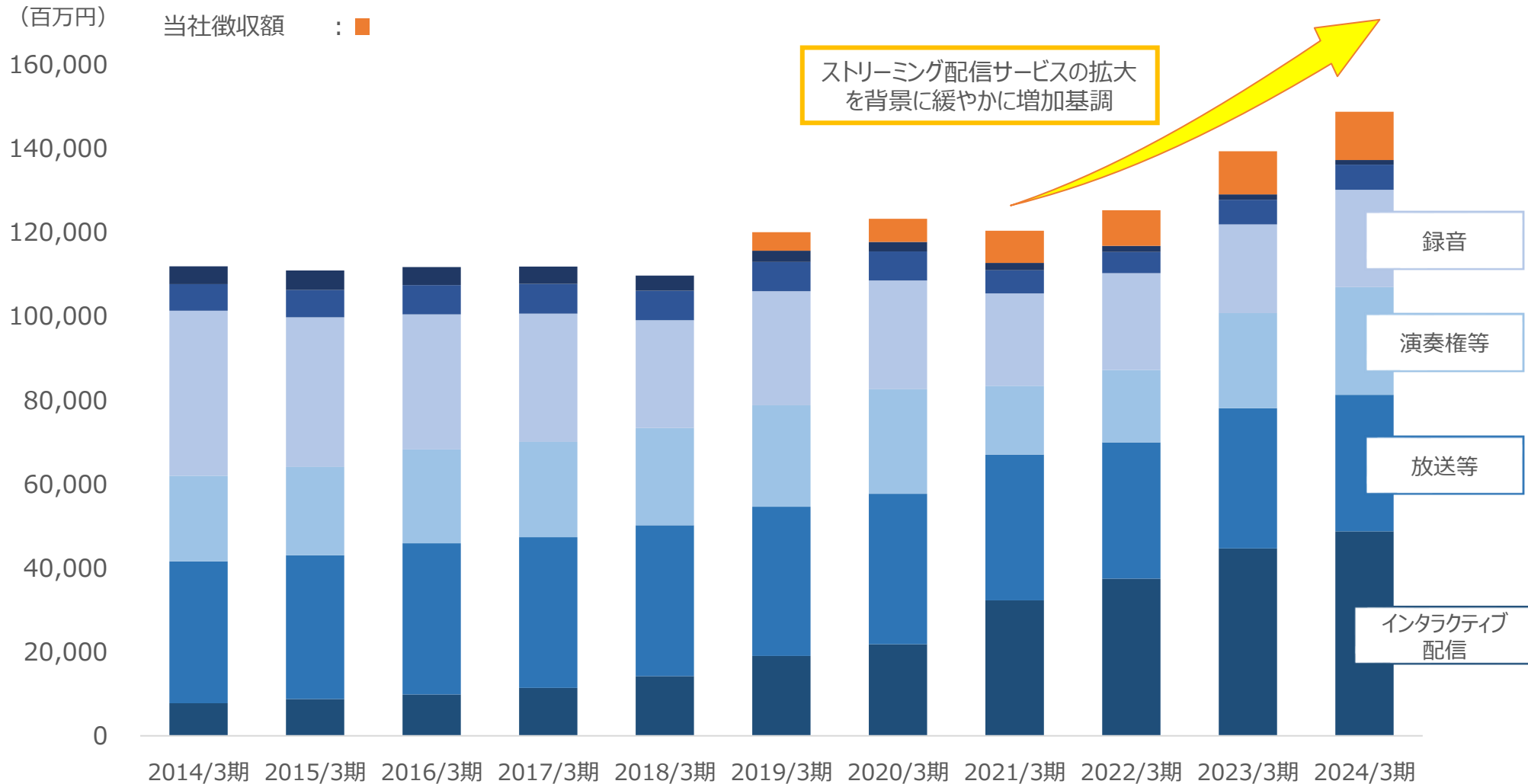
- 備考
1. ベース：音楽ソフト…生産実績、音楽配信…売上。
 2. 「その他」には「Master ringtones (～2021)」、「Ringback tones (～2021)」が含まれる。
 3. 2017年より音楽配信売上実績の集計区分を変更。「サブスクリプション」は2016年までの集計区分。

一般社団法人日本レコード協会公表情報

音楽著作権の市場規模

著作権使用料徴収額の推移

JASRAC徴収額 : ■ インタラクティブ配信 ■ 放送等 ■ 演奏権 ■ 録音権等 ■ 通信カラオケ ■ その他（貸与・出版等）
当社徴収額 : ■



計画に関する注意事項

本資料に記載されている業績計画等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

IRに関連する
Q&A一覧はこちら



【お問い合わせ先】

株式会社NexTone 経営企画部

ir@nex-tone.co.jp

【公式SNS】

公式X（旧Twitter）アカウント

https://twitter.com/i/flow/login?redirect_after_login=%2FNexTone_info